

別添第1号

平成27年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

大分県社会福祉協議会

目 次

概 要	-----	1
各部所事業報告		
総務・企画情報部	-----	2
地域福祉部	-----	7
生活支援部	-----	3 1
施設団体支援部	-----	4 0
身体障害者福祉センター	-----	4 8
社会福祉介護研修センター	-----	6 2
福祉サービス運営適正化委員会	-----	8 2
第三次総合福祉計画実施報告	-----	8 9

27年度事業報告（概要）

近年における家族形態の変容や地域での支えあい意識の低下など、人間関係の希薄化を背景とした児童・高齢者への虐待、高齢者等の孤立、孤独死などの問題が山積みしているなか、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりのための事業を重点的に取り組むとともに、第3次中長期活動計画だいふくプラン2013の中間年度にあたり、取り組みを検証するとともに、各重点テーマ毎の実施計画に基づき事業展開を図った。あわせて経営基盤強化に向けた財源確保に取り組み、地域福祉推進のための各事業を中心に以下の取り組みを行った。

1 地域福祉推進の強化

生活困窮者自立支援制度や介護保険改正への対応、さらに生活困窮者や災害時要援護者等の地域生活課題について、地域福祉推進委員会における対応協議を重ねるとともに各研究部会の活性化を図った。また、地域生活支援の核となる人材を育成するため、地域福祉コーディネーター研修を開催した。

2 生活支援事業の取り組み

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業と生活福祉資金貸付制度との連携強化を図り、生活困窮者への支援を行った。併せて日常生活自立支援事業の充実を図るとともに社協における法人後見の実施に向けた取り組み支援を行った。また、社会福祉法人の社会貢献事業の取り組み支援を行った。

3 ボランティア活動の推進

災害時に備えた日頃からのボランティアネットワークづくりと災害ボランティアセンターの人材育成の取り組みを行うとともにボランティアとNPO、企業等との一層の連携強化を図った。

4 指定管理施設の充実

大分県社会福祉介護研修センター及び大分県身体障害者福祉センターでは、2期目の指定に向けた取り組みを行うとともに、各種事業の充実を図った。

総務・企画情報部

総務課

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、人事考課制度を運営するとともに、人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

会議名	期日	主な議題
監事監査	5月15日	平成26年度事業実施状況、決算状況
第229回理事会	5月27日	平成26年度事業報告、決算等
第159回評議員会	5月27日	平成26年度事業報告、決算等
第230回理事会	1月22日	諸規程の一部改正
第231回理事会	3月25日	平成28年度事業計画(案)、予算(案)
第160回評議員会	3月25日	〃
第232回理事会	3月25日	会長及び副会長の選任

(2) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

①市町村社会福祉協議会事務局長会議

期日 平成27年4月21日
場所 大分県総合社会福祉会館 大ホール
出席者 24名
内容 ・県行政説明
・平成27年度県社協重点事業、事業計画

②全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等

(全国関係) (九州関係)

会議名	期日	場所
全国社会福祉協議会評議員会	5月20日	全社協
都道府県社協常務理事・局長セミナー	7月30～31日	ロフォス湘南
全社協常務理事・事務局長会議	1月29日	全社協
九社連総務部課長・職員研究会議	2月3日	北九州市
九社連事務局長会議(前期)	9月14日	福岡市
〃(後期)	2月16日	鹿児島市
都道府県社協総務担当部課長会議	9月2日・3日	ロフォス湘南

(3) 職員の資質向上等への取り組み

①社会福祉施設等新任職員研修会	前期（4月15日～16日）	8名
	後期（6月30日～7月1日）	12名
②社会福祉協議会新任職員研修会	（5月 8日）	1名
③人権研修会	（3月2日・4日）	全職員
④地域福祉コーディネーター養成研修	（9日間）	2名
⑤社会福祉施設事務担当職員研修会	（6月16日、7月16日）	4名
⑥市町村社会福祉協議会事務担当職員研修	（10月6日）	2名
⑦社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座初級	（3日間）	3名
⑧都道府県・指定都市社会福祉協議会新任職員研修会	（2月1日～3日）	4名

(4) 社会福祉関係従事者等の顕彰

9月16日、別府市ビーコンプラザで開催した「第10回大分県地域福祉推進大会」の席上において、130名・47団体の表彰を行った。

①県社協会長表彰

・民生委員児童委員特別功労者	50名
・社会福祉事業関係功労者	48名
・自力更生者	6名
・ボランティア功労者・団体	6名・23団体
・優良社会福祉施設	1団体
・優良社会福祉協議会	1団体

②県社協会長感謝状

・ボランティア功労者・団体	18名・14団体
・善意銀行寄付者・団体	1名・8団体
・事業協力者	1名

(5) 県社協職員人材育成基本方針による研修の実施

地域福祉の推進、特に地域の支えあい「共助」が求められている中、県民の役に立つ人材を戦略的に創出、育成し、意識改革を行い、組織風土を変革し、新たな地域コミュニティの創造に役立つ人材育成を目的にした研修を実施した。

(6) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

2 善意銀行の運営

指定預託金 31 件、一般預託金 8 件、合計 39 件の預託があった。このうち一般預託金の配分については、善意銀行配分委員会で、各福祉団体から申請のあった各種事業等に対する助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。

(大分県総合社会福祉センター)

区 分	福 祉 関 係		一 般		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
大ホール	128 (94)	10,679 (8,873)	37 (39)	5,443 (7,770)	165 (133)	16,122 (16,643)
大会議室	22 (20)	1,089 (670)	20 (13)	2,200 (1,250)	42 (33)	3,289 (1,920)
中会議室	97 (92)	3,436 (2,685)	34 (48)	1,345 (2,032)	131 (140)	4,781 (4,717)
小会議室	259 (279)	3,397 (3,458)	70 (96)	1,343 (1,981)	329 (375)	4,740 (5,439)
合 計	506 (485)	18,601 (15,686)	161 (196)	10,331 (13,033)	667 (682)	28,932 (28,719)

※ () 26 度

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績

	26 年度	27 年度
加入者数	9, 058 人	9, 203 人
給付人数	1, 231 人	1, 092 人
給付金額	968,773,822 円	685,299,030 円

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業の実績

給付金種類	26年度		27年度	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
弔慰金	10	310,000	7	230,000
傷病手当金	14	200,000	12	180,000
結婚祝金	190	2,850,000	210	3,150,000
出産祝金	239	3,570,000	245	3,705,000
入学祝金	227	4,240,000	198	3,955,000
脱退一時金	129	16,548,180	109	14,617,653
災害見舞金	0	0	0	0
合計	809	27,718,180	781	25,837,653

企画情報課

第3次中長期活動計画初年度の取り組みについてその中間年の進捗状況を確認し、さらに効率的な事業展開を図るため事業整理に取り組んだほか、キャラクターの「だいふくん」を通じた社協PRに取り組んだ。また、定期的に事業企画会議を行い、広報誌の定期的発行やホームページの更新、また、情報提供のあり方についても協議工夫し積極的に取り組んだ。

1 だいふくプラン中間年における進捗状況確認、見直し

2 キャラクター「だいふくん」による社協PR

(1) 着ぐるみによるPR活動

- ①パークプレイス
- ②街中PR
- ③ゆうあいスポーツ大会
- ④子どもの福祉講座
- ⑤大分駅周辺募金活動（ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動）
- ⑥赤い羽根空の第一便伝達式
- ⑦リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015大分
- ⑧研修センターまつり
- ⑨TOSゆるキャラ大運動会
- ⑩ゆるキャラグランプリ
- ⑪大分県地域福祉推進大会
- ⑫ボランティア大会
- ⑬車いすマラソン開会式

(2) グッズ等によるPR

- ①だいふくん甘酒
- ②だいふくんクレパス
- ③だいふくんスケッチブック
- ④だいふくんストラップ
- ⑤シール、ポケットティッシュ等

4 大分県社協経営基盤強化・発展計画の取り組み

平成27年度までの中期経営再建計画に基づき、収入の増加策や支出削減策について計画的に取り組んだ。

5 情報提供の充実

- ①広報誌の発行 年3回
- ②ホームページのリニューアル

地域福祉部

地域福祉課

地域に密着した小地域福祉活動の推進を図るため、地域活動の核となる地域福祉コーディネーターの養成・育成に力を入れるとともに、市町村社協の基盤強化のための研究協議や社協役職員の資質向上のための研修会及び地域住民や関係団体等を対象とした各種事業を展開した。

また、生活困窮者自立支援制度に係る自立相談支援事業の円滑な運営を図ることを目的とした、生活困窮者自立支援事業連絡協議会を設置し、支援員間の情報共有、事例検討を行うとともに、研修会等を実施することで資質の向上を図った。

1 地域福祉活動推進支援

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

誰もが安心して心豊かに生活を営むことができる地域社会を創り出すため、地域で住民が支えあい・助けあう小地域ネットワークを普及推進し、地域の福祉力を高めるための人材育成及び技術支援を行った。

①各市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定及び改訂支援

- ・地域福祉活動策定に係る資料提供及び委員会設置のための学習支援
- ・地域福祉活動計画改訂委員会への職員派遣

②地域福祉コーディネーターの養成・育成

・第1クール

期 日	6月2日(火)～3日(水)
内 容	テーマ「生活を支えるワーカーとしての視点」 テーマ「社会システム・制度の理解」

・第2クール

期 日	8月26日(水)～27日(木)
内 容	テーマ「個への支援・地域支援・プランニング」 テーマ「住民を巻き込む力・ネットワークづくり」

・第3クール

期 日	11月4日(水)～5日(木)
内 容	テーマ「プレゼンテーション」 テーマ「相談援助技術・傾聴・アクティブリスニング」 ・自己覚知

・フィールドワーク

期 日 1月21日(木)
大分県溪泉寮・けいせんプラザ

・第4クール

期 日 2月4日(木)～5日(金)
内 容 テーマ「住民とのラポール形成と、
そのための地域連携会議のあり方」
テーマ「社協の実践を通じた地域福祉コーディネート」

③生活困窮者自立支援制度への対応支援

・自立相談支援事業等担当者連絡協議会の設置・運営

第1回 5月13日(水)
内容「連絡会のあり方と今後の進め方について」

第2回 6月19日(金)
内容「記録の仕方と支援調整会議の視察」

第3回 8月24日(月)
内容「情勢報告・事例共有及び相談援助技術」

第4回 12月5日(土)
内容「スキルアップ研修
(支援におけるケースワーカーの位置づけ)」

第5回 2月19日(金)
内容「生活福祉資金貸付制度との連携と
相談援助技術及び次年度に向けて」

(2) 市町村社協学習支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員の資質向上、並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する学習内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

実施回数：年10回

2 市町村社協運営の円滑化の促進と活動強化支援推進

(1) 地域福祉推進委員会の運営

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題への解決策を明らかにすべく調査研究や検討会を開催実施した。

①本委員会の開催（3回）

(内容)

○第1回：5月19日（火）

ア 平成26年度事業報告について

イ 平成27年度事業計画（案）について

ウ 各研究部会について

エ 市町村社協常務理事・事務局長研究協議会について

○第2回：12月9日（水）

ア 平成27年度各部会の取り組み状況中間報告について

イ 平成28年度事業方針（案）について

○第3回：3月11日（水）

ア 平成27年度各部会の取り組み報告について

イ 平成28年度事業計画（案）について

②部会の開催

ア 法人経営・制度政策研究部会 6月17日（水） 2月24日（水）

イ 地域・在宅福祉推進事業等研究部会 6月22日（月） 2月24日（水）

ウ 地域防災研究部会 7月27日（月）、10月26日（月） 2月29日（月）

③作業部会の開催

ア 地域支援事業（新しい総合事業）研究作業部会

9月11日（金） 11月17日（火）

イ 地域包括ケア研究作業部会

8月18日（火） 10月8日（木） 11月26日（木）

ウ 介護保険事業等研究作業部会

9月2日（火）～3日（木） 10月27日（火） 1月19日（火）

エ 地域防災研究作業部会

1月18日（月）

④資料提供

全社協など中央の情報等を随時メール配信した。

(2) 各種調査活動等

- ①市町村社協の現況調査（抜粋版作成）
- ②市町村社協別見守りなどの小地域ネットワーク設置状況調査
- ③就業規則調査
- ④顧問弁護士就任状況調査
- ⑤社協会費調査

(3) 役員・職員の資質向上を目的に会議・研修・学習会を実施

会議・研修名	期 日	会 場	内 容	参加者
市町村社協新任職員研修会	5月8日 (金)	県総合社会福祉会館	・社協の使命、活動と必要な視点 ・社協職員としての心構えと接遇	31名
社協常務理事・事務局長研究協議会	7月2日(木) ～3日(金)	別府亀の井ホテル	・実践報告 住民主体の生活支援サービスの実施に向けて 福岡市社協 ・研究協議 介護保険法改正に伴う地域支援事業について 生活支援コーディネーター設置に係る動向について ・分散会	28名

(4) 市町村社協事業・行事への支援

- ・市町村社協主催の社会福祉大会等への出席
大分市、別府市、日田市、佐伯市、臼杵市、竹田市、由布市、杵築市、日出町、九重町

(5) 善意銀行を通じた社協への物品等の配分

善意銀行を通して寄贈の申し出があった介護用ベッド、車いす、巡回車両等について、以下のとおり社協への配分を行った。

寄 贈 者	品 目	贈呈社協
日産プリンス大分販売株式会社労働組合	介護ベッド	佐伯市、豊後高田市
大分県生命保険協会	巡回車両	豊後高田市、杵築市
第一生命労働組合大分支部	車いす	国東市、由布市、九重町
明治安田生命保険相互会社	車いす	津久見市
ヤクシングループ ヤクシン友の会	車いす	大分市
大分教区仏教婦人会連盟	車いす	由布市、九重町
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社大分支店	車いす	豊後高田市

3 民生委員・児童委員活動との連携

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関につなぎ、福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

(1) 県内研修会等の企画・実施

①単位民生委員児童委員協議会会長研修会（参加：181名）

- ②新任民生委員児童委員研修（参加：56名）
- ③民生委員・児童委員ブロック別研修会（8会場／参加：2,085名）
- ④中堅民生委員・児童委員研修会（参加：157名）
- ⑤主任児童委員研修会（参加：234名）
- ⑥福祉教育実践研究発表会・子育て環境セミナー（参加：530名）
- ⑦民生委員・児童委員等の相談に関する研修会（参加：324名）

(2) 市町村社協事業との連携

- ①生活福祉資金等貸付事業への協力
 - 長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ②法律巡回相談の実施
 - 実施か所：12か所、相談者数：62人（件数：56件）

(3) 市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ・全国社会福祉協議会・指定民生委員児童委員協議会の育成
 - ア 大分市豊府校区民生委員児童委員協議会
 - イ 玖珠町民生委員児童委員協議会

(4) 大分県知事と市町村民児協会長との意見交換会

・「民生委員・児童委員の日」活動強化週間にあわせて、県知事との意見交換会を実施し、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりとともに、各種民生委員活動への理解と協力をお願いした。

期 日：平成27年5月18日（月）13時～14時30分
 会 場：大分県庁舎本館4階 第1応接室
 出席者：県民児協理事21名（内、市町村民児協会長18名）
 顧問、広報紙編集委員5名、事務局5名
 内 容：①民生委員・児童委員活動についての報告
 大分県民生委員児童委員協議会会長
 ②意見交換会

(5) 地域のつながり応援事業（民生委員児童委員支援事業）

・民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりのため、県の委託を受け、各市町村における民生委員・児童委員サポート体制の整備を行った。また、

「民生委員・児童委員活動の目安と考え方 Q & A」を作成し、県内の民生委員・児童委員へ配布した。

【説明会開催】

第1回 期 日：平成27年8月28日（金）13時～14時
会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
出席者：市町村民児協会長16名、市町村民児協事務局13名、市町村行政民生委員担当17名、
県地域福祉推進室4名、県民児協事務局3名
内 容：①民生委員・児童委員に対する支援事業の説明
②大分市の取組紹介
③意見交換（各市町村での民生委員・児童委員に対する支援体制について）

第2回 期 日：平成28年3月25日（金）11時～12時
会 場：大分県庁本館2階 正庁ホール
出席者：市町村民児協会長7名（内、代理出席1名含む）
市町村民生委員担当15名、県地域福祉推進室4人
県民児協事務局2名
内 容：①庁内サポート体制の構築について
②「大分県民生委員・児童委員活動の目安と考え方 Q&A」について

【民生委員・児童委員活動の目安と考え方 Q & A 作成検討】

※県民児協地域福祉推進委員会並びに調査研究委員会合同会議内で検討

第1回 期 日：平成28年1月14日（木）
会 場：大分県総合社会福祉会館 3階会議室
出席者：委員長、金藤委員長他10名、会長
事務局4名

第2回 期 日：平成28年2月26日（金）
会 場：大分県総合社会福祉会館 3階会議室
出席者：委員長、委員長他10名、事務局4名

(6) 全国及び九州ブロック会議、研修会への参加

- ①全民児連評議員会
- ②評議員セミナー
- ③全国民生委員互助共励事業運営委員会
- ④全民児連総務部会
- ⑤民生委員制度創設100周年記念事業企画推進委員会
- ⑥都道府県・指定都市市民児協事務局会議（東京都）
- ⑦全国民生委員・児童委員大会（富山県）
- ⑧全国主任児童委員研修会（福岡市）
- ⑨全国民生委員児童委員指導者研修会（神奈川県）
- ⑩民生委員・児童委員リーダー研修会（東京都）
- ⑪全国児童委員研究協議会（横浜市）
- ⑫九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（北九州市）

(6) 互助事業の実施

- ①慶弔事業の実施
- ②退任記念品料給付事業の実施
- ③傷病見舞金給付事業の実施
- ④全国互助共励事業給付の実施
- ⑤民生委員・児童委員活動保険への一括加入

(7) 広報活動及び情報提供等

- ①活動記録刺集「民生委員・児童委員活動を振り返って」の作成・配布
- ②PR用チラシ・ポケットティッシュの作成、配布
- ③広報紙（県民児協だより）「愛」の発行（年3回）
- ④全民児連ホームページ（mj ASSIST）の活用促進
- ⑤各種資料の提供
 - ・生活困窮者自立支援制度と民生委員・児童委員活動
 - ・民生委員・児童委員による子ども・子育て家庭への個別支援事例
 - ・民生委員活動の手引き40集

5 関係団体との連携、支援

(1) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織されている「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

①交流・研鑽事業の支援

期 日 1月30日（金）～31日（土）

会 場 臼杵市社協、臼杵市観光交流プラザ

参加者 38名

内 容 「生活困窮自立支援と成年後見制度
～社会福祉協議会としてどのように向き合うべきか～」
臼杵市理事兼協働まちづくり推進局長 西岡 隆 氏

「精神障害や疾患を持つ方々への関わりと支援」

大分県精神福祉士協会会長 古賀朋和 氏

交流会

②幹事会・総会の開催

総 会 8月4日（月）

幹事会 9月8日（月）

③「職員相互派遣学習会」の実施支援

県内各市町村社協がお互いに各分野の専門知識や技能を共有できるよう講師の職員派遣を行う事業を推進した。

(2) 情報提供等

①県社協主催のセミナーや研修会についての情報提供

②市町村社協職員学習会との連携による支援

③メーリングによる介護保険事業等の制度情報の提供

(3) NPO、小規模福祉団体への支援

県内で活動するNPO団体や小規模福祉団体への情報提供や活動等に対しての相談に応じた。

(4) 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見を提示した。

7 調査・情報機能の充実

(1) 県社協ホームページ及びブログによる社協事業・活動等の広報

(2) 調査・研究活動

・平成27年度市町村社会福祉協議会役職員名簿の作成

8 その他

(1) 第10回大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉推進のシンボル大会として「第10回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

①大分県地域福祉推進大会実行委員会 6月29日(月)

②第10回大分県地域福祉推進大会

期 日 9月16日(水)

会 場 別府ビーコンプラザ

参加者 2,000名

長寿いきいき班

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「豊の国ねんりんピック」の開催、「全国健康福祉祭やまぐち大会」への選手団派遣のほか、地域活動を促進するためのリーダーの育成及び普及啓発活動等の事業を実施した。

1 豊の国ねんりんピック開催事業

(1) 第26回豊の国ねんりんピック 美術展 等

期 日 平成27年6月3日(水)～6月7日(日)

会 場 アートプラザ(大分市荷揚町)

入場者数 1,072名

① 美術展 (点)

部 門	日本画	洋画	写真	書	彫刻・彫塑	工芸	合計
作品数	25	47	32	40	12	46	202

※全作品を展示。

② シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展 (点)

部 門	短 歌	俳 句	川 柳	合 計
作品数	355	877	607	1,839

※45点(各部門15点)の入選作品を展示。

(2) 第26回豊の国ねんりんピック

期 日 平成27年9月27日(日)を主日程として開催

会 場 県立総合体育館、大洲総合運動公園ほか

事 業 名	会 場	日 程	参加人員
総合開会式	県立総合体育館	9/27	3,900名
スポーツ交流大会(12競技)	大洲総合運動公園 <small>ほか</small>	9/27	
〃 ゴルフ	城島高原ゴルフクラブ	10/9	
ふれあい交流大会(4競技)	大洲総合運動公園 <small>ほか</small>	9/26.27	
シルバー囲碁大会	県総合社会福祉会館	9/27	
シルバー将棋大会	県総合社会福祉会館	9/27	
ふれあい俳句大会	県総合社会福祉会館	9/27	
(協賛イベント)親善交流登山会	宇曾山(大分市)	9/13	
(〃)太極拳交流大会	県立総合体育館	9/27	
(〃)後藤建寿杯第30回県なぎなた選手権大会	県立総合体育館	27.2/27.28	
(〃)第1回大分県パークゴルフ交流大会	風の郷パークゴルフ場(杵築市)	9/27	

2 第28回全国健康福祉祭やまぐち大会派遣事業

(1) 選手団派遣

結団式 平成27年10月9日(金)
 開催期間 平成27年10月17日(土)～20日(火)
 参加人員 選手124名、本部役員7名(計19種目、131名)

種目等	人員	種目等	人員	種目等	人員
卓球	7	マラソン	4	ダンススポーツ	(8)
テニス	6	弓道	6	アーチェリー	(3)
ソフトテニス	7	剣道	5	囲碁	3
ソフトボール	14	太極拳	(7)	将棋	3
ゲートボール	10	グラウンド・ゴルフ	6	健康マージャン	(4)
ペタンク	3	ソフトバレーボール	7		
ゴルフ	3	サッカー	18	役員	7

※()の数字は自費参加者数

(2) 試合結果

ゲートボール〈全国優勝〉 かぼす(大分市)
 健康マージャン〈個人戦毛利ブロック優勝〉 上田 稔選手(大分市)

テニス〈優秀賞〉 大分県チーム
 弓道〈優秀賞〉 大分県

(3) 美術展

①出品

美術展で最優秀賞を受賞した日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の
 各2作品を出品

②入賞

洋画の部〈金賞〉 小倉 春生氏(臼杵市)

3 生きがいと健康づくり事業の普及・啓発

ホームページによる情報提供

- ① 第26回豊の国ねりんピック
- ② 第26回豊の国ねりんピック美術展等
- ③ 第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
- ④ ニューススポーツ用具の貸し出し

ほか

4 ニュースポーツ用具の貸し出し

(1) 用具の貸出回数 151回

(2) 延べ利用人数 6,036名

用具一覧

1	オーバーボール	15	ペタンク
2	カローリング	16	ポケネット
3	グラウンドゴルフ	17	輪投げ
4	ゲーゴルゲーム	18	フライングディスク
5	じゃんけんペタンコ	19	囲碁ボール
6	ストライクトレーナー	20	ビーンボウリング
7	スマイルボウリング	21	ユニカール
8	ソフトペタンク	22	絵手紙セット
9	ターゲットバードゴルフ	23	カラー玉入れ
10	クロリテー	24	ラガーゲッター
11	チームラビリンス	25	ターゲットゲーム
12	バグゴ		
13	ヒットだ!ターゲット		
14	フリーブロー		

5 全国会議・研修会

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構会議

① 全国健康福祉祭担当係長会議

5月20日(水)～21日(木) 山口県山口市

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

7月7日(火) 東京都

③ 全国明るい長寿社会づくり推進機構職員等研修会

12月16日(水)～18日(金) 東京都

④ 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

平成28年2月17日(水) 東京都

(2) 九州ブロック明るい長寿社会づくり推進機構会議

九州地区明るい長寿社会づくり推進機構実務者会議

平成28年2月5日(金) 福岡県

ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティアリーダーやコーディネーター等の人材育成を図ったほか、各種ボランティア研修を行うとともにボランティアや市民活動に関する情報提供を行った。

福祉教育においては、福祉ボランティア体験学習等を通じてボランティア活動の振興を図るとともに、災害ボランティアの体制整備、「災害ボランティアネットワーク」の拡充を図るために、災害ボランティア体験型研修会を行った。

また、「食」に困っている人を対象に「フードバンクおおいた」を平成28年6月に設立するために、設立準備調整会議を開き、3月17日に「フードバンクおおいた」設立準備会を開催した。

1 ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティア等の人材育成

市町村社会福祉協議会と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するため、各研修会・講座等を開催した。

①ボランティアコーディネーター研修会

大分県内の福祉施設や社会福祉協議会等で、ボランティアの受入などコーディネーター担当者の資質の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 平成27年 7月10日(金)

場 所 県総合社会福祉会館 3階大会議室

参加者 36名

内 容 講義・ワークショップ「ボランティアコーディネーターの心構えと技法」

講師 認定特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 小原 宗一 氏

②福祉ボランティアリーダー養成講座

ボランティア団体の設立・運営・活動活性化方法等専門的な知識を習得した福祉ボランティアリーダーを養成し、中核的なボランティア団体の増加を図ることを目的に、延べ5日間の日程で開催した。

開催日 ①平成27年11月30日～12月1日(月・火)

②平成27年12月14日(月)

③平成28年 1月14～15日(木・金)

場 所 県総合社会福祉会館 3階母子会議室

場 所 ①県総合社会福祉会館 3階大会議室

②地域支えあいセンター「茶の実」

③県総合社会福祉会館 3階母子会議室

参加者 29名

内 容 講義及び演習

ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 氏

③福祉ボランティア専門研修

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 平成27年 6月 8日 (月)

委託先 6団体 (1団体への研修委託金上限300千円)

年度	25年度	26年度	27年度
申請団体 (件)	8	10	8
実施団体 (件)	7	7	6

団体名	研修内容
NPO法人FOR ONE	福祉コンサート 音楽・読み語り実践ボランティア講座
玖珠町ボランティア連絡会	住民の支えあいマップづくり活動推進員養成研修 (ご近所福祉サポーター)
きつき傾聴ボランティアグループ「縁」	傾聴ボランティア養成研修～スキルアップ・コミュニケーション講座～
チャイルドラインおおいた	子どもの心を聴く電話受け手ボランティア5期生養成講座
NPO法人たすけあい組織鼓楼	生活支援ボランティア専門研修
人形劇サークル わくわく家	人形操作及び表現力の向上研修

(2) 市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議

住民のボランティア活動推進を活性化させるため、市町村社協ボランティア及び地域福祉担当と合同で事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

第1回 平成27年 5月20日 (水)

場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室

参加者 ボランティア・地域担当者 23名

内 容 ア) 平成27年度地域福祉関係事業について
イ) 平成27年度ボランティアセンター関係事業について
ウ) 2015年夏のボランティア体験月間について
エ) 質疑応答

第2回 平成27年10月14日 (水)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室

参加者 ボランティア担当者 15名

内 容 ア) 2015年夏のボランティア体験月間の実施結果等について
イ) 市町村社協のボランティアセンター強化方策について
ウ) 今後の主な事業実施予定について
エ) 質疑応答

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

団体や組織としての運営のあり方など、活動上の悩みをどのように解決するかに応え、活動を促進するための出前講座を開催した。

- 期 日 ①平成27年11月24日(火)
②平成28年 3月12日(土)・13日(日)
- 開催地 ①豊後大野市 参加者 60名
②国東市(2地区) 参加者198名
- 講 師 ①福岡大学短期大学部 非常勤講師 山本素子 氏
②認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 専務理事 田中尚輝氏

(3) ボランティア・市民活動団体の育成

大分県ボランティア連絡協議会への支援

①総会及び研修会の開催

- 開催日 平成27年 5月14日(木)
- 場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール
- 参加者 市町村ボランティア連絡協議会会員及び社協職員66名
- 内 容 総 会 ①平成26年度事業報告・決算について(監査報告)
②平成27年度事業計画・予算(案)について
- 研修会 テーマ「5年後、10年後、その先を見据えて～
明るく元気なまちづくりは皆さんの健康づくり～
健康寿命の延伸に向けて」
- 講師：NPO法人日本健康運動指導士会
大分県支部長 松元 義人 氏

②理事会の開催

- 第1回 平成27年 5月14日(木)
- 第2回 平成27年 9月 7日(月)
- 第3回 平成28年 3月23日(水)

③ブロック別研修会の開催

- ア) 県北ブロック 開催日 平成27年 9月15日(火)
場 所 宇佐市駅川公民館・集会室
内 容 籠づくり体験、健康体操、意見交換会
参加者 34名
- イ) 別杵東速ブロック 開催日 平成27年10月22日(木)
場 所 公共共済やすらぎの里「豊泉荘」
内 容 講演、懇親会
参加者 31名
- ウ) 大分ブロック 開催日 平成27年11月10日(火)
場 所 大分県総合社会福祉会館大ホール
内 容 講演、意見交換会
参加者 61名

エ) 県南ブロック	開催日	平成27年11月11日(水)
	場 所	蒲江地区公民館 中ホール
	内 容	活動発表、くつろぎタイム、講演
	参加者	75名
オ) 豊肥ブロック	開催日	平成27年11月24日(火)
	場 所	三重農村環境改善センター多目的ホール
	内 容	講義、グループ討議
	参加者	72名
カ) 日田玖珠ブロック	開催日	平成27年12月 4日(金)
	場 所	九重町保健福祉センター
	内 容	アトラクション、活動発表、講演
	参加者	113名
	合 計	386名

④市町村ボランティア連絡協合同研修会

県内で1泊2日の研修会を開催した。

期 日 平成27年10月21日(水)～22日(木)

場 所 公立共済やすらぎの宿「豊泉荘」(別府市)

参加者 84名

内 容 1) 講義「災害時、あなたと大切な人を守るために備えよう」

講師：NPO法人レスキューサポート九州

代表 木ノ下 勝矢 氏・轟 美智代 氏

2) 活動事例発表「わがまちのボランティア活動」

①「緒方町ボランティア連絡協議会活動報告」

豊後大野市緒方町ボランティア連絡協議会 吉良理郎 さん

②「私の心に残るボランティア」

豊後高田市ボランティア連絡協議会 岡村田鶴子 さん

③「日出町ボランティア連絡協議会活動報告」

日出町ボランティア連絡協議会 阿部長夫 さん

3) 分散会(グループ討議)

「ボランティア活動における現状と課題」

4) 情報交換会

5) 講義と演習

「体の不調を食と運動から防ぐ健康セルフマネジメント」

講師：整体師・健康研究家 近藤雅明 氏

⑤市町村ボランティア連絡協県外研修会

期 日 平成27年11月20日(金)～22日(日)

場 所 ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)他

参加者 11名

内 容 開会式典、基調講演、シンポジウム、分科会、東日本大震災展

(4) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

第1回 平成27年 6月 1日 (月)
場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室
内 容 ①役員改選について
②平成27年度事業計画について
③ふくしまっ子応援プロジェクト5について

第2回 平成27年12月17日 (木)
場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室
内 容 ①平成27年度事業の進捗状況について
②今後の事業実施予定について

第3回 平成28年 3月23日 (水)
場 所 県総合社会福祉会館
内 容 ①平成27年度事業実施報告について
②平成28年度事業実施計画(案)について

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第12回大分県ボランティア・NPO推進大会の開催

①現地会議 第1回 平成27年 5月15日
第2回 平成27年11月27日
第3回 平成27年12月 2日
第4回 平成27年12月21日
第5回 平成28年 2月 1日

②大会開催

期 日 平成28年 2月20日 (土)
場 所 ホルトホール大分 3階大会議室・1階エントランスホール
参加者 約600名
内 容 基調講演「助けあってつながる地域コミュニティ」
講師 NPO法人さくらネット 代表 石井 布紀子 氏
活動発表“小さなボランティアが、地域を大きく変える！”
①「安心して快適なマンションライフを過ごせる大分県に」
NPO法人マンション管理組合ネットワーク大分
②「災害時における避難者安否確認システムの構築」
NPO法人大分県防災活動支援センター
③「生きもの元気、子どもが元気、漁師さんが元気な中津干潟を100年後に」
NPO法人水辺に遊ぶ会
④「大分川・宮川の水環境を豊かにし、育てていく事業」
豊かな水環境創出ゆふいん会議
⑤「地域の安全・安心のために～真萱自治会の防災活動～」

大分市松岡校区真萱（まかや）防災会

⑥「東北から教わっていること」

大分 B a b y s

物品販売及び活動パネル展

1階エントランスホールでボランティア団体等の物品販売や活動紹介パネル展を設置した。

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

コーディネート等による情報発信などを行った。

①ボランティアコーディネート

②ボランティア・NPOからの相談受付

(3) ボランティア・市民活動情報サイト「ぼらのたNET」の充実

ボランティア・助成金・講座・お知らせ等に関する各種情報を発信した。

(4) facebook の開設、情報発信

今年度より大分県ボランティア・市民活動センターの facebook を開設し、各種情報発信を行った。

(5) おおいたNPO情報バンク「おんぼ」の管理等

おおいたボランティア・NPOセンターと連携を図りながら、おもにボランティア情報について担当し、情報発信を行った。

(6) ボランティア・市民活動ルーム利用管理

ボランティアグループ、市民活動団体に部屋及びコピー機の貸出を行った。

(7) ボランティア保険受付業務

各種ボランティア保険の受付を行った。

(8) その他広報

①ボランティアグループ名簿（28年3月発行予定）の作成・配布

②県社協広報誌「大分社会福祉（だいふく）」への寄稿

3 福祉教育の推進支援

福祉体験学習（体験・交流活動等）を通じ、県内の小・中・高等生に福祉への関心や理解の醸成を図った。また、県内の学生や社会人に、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をしてもらいボランティア活動への振興を図った。

(1) 青少年福祉体験教室（福祉施設等での1日体験学習）

ア) 実施数 5回（小学校 3回134名、中学校 2回26名）

イ) 参加者数 160名

(2) ふれあい学習

学校で障がい者自身の体験談等の講演や児童・生徒が疑似体験等を行うことにより、障がい者への理解と児童・生徒との交流を深めた。

ア) 実施数 18回 (小学校14回628名、中学校 4回80名)

イ) 参加者数 708名

(3) 夏のボランティア体験月間事業の普及促進

①期 間 7月18日～8月31日

ア) 参加者 1,431名

(高校生995名、大学生等203名、社会人61名、その他172名)

イ) 参加施設数 377施設

	25年度	26年度	27年度
参加者数(人)	1,296	1,428	1,431
参加施設数(カ所)	427	416	377

②説明会の開催 5月20日(水)市町村社協ボランティア担当者

③報告会の開催 10月14日(水)市町村社協ボランティア担当者

(4) 福祉教育実践研究発表会

期 日 平成27年11月25日(水)

場 所 ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール

参加者 530名(福祉関係者・ボランティア・NPO法人・一般参加者等)

内 容 実践発表 ①地域における学習支援

大分市ボランティア連絡協議会 幸 紀人 さん

②不登校家庭への関わりについて

津久見市民生委員児童委員協議会 石井保雄 さん

③子どもの声に寄り添って！！

チャイルドラインおおいた 平井貴美子 さん

4 企業・団体等のボランティア・市民活動支援

(1) 企業・団体の社会貢献・ボランティア活動研修会

期 日 平成27年10月31日(土)

場 所 NPO法人碧い海の会 竹中憩いの広場周辺

参加者 49名(企業・社協職員・地域住民等)

内 容 ①活動内容説明・班分け

②実習「竹林整備(竹切り出し)、竹杖づくり、ピザ釜調理体験」
自然観察会、ミニ講座等

(2) 住民参加型在宅福祉サービス研修会

開催日 平成27年12月14日(月)

場 所 地域支え合いセンター「ふれあいサロン茶の実」

参加者 28名(ボランティア・老人クラブ・民生委員・社協職員・NPO法人等)

内 容 講義と演習「住民参加型福祉サービス団体の活動から学ぶ～地域の声をカタチに～」

5 災害ボランティア活動の推進

(1) 災害ボランティアネットワーク体制の充実

①大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会の開催

第1回 平成27年 5月21日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 2階視聴覚室

参加者 災害ボランティア登録団体、施設、社協、行政等

内 容 ①大分県災害ボランティア体験型研修会の開催について
②大分県西部地区総合防災訓練について

第2回 平成27年11月27日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室3

内 容 ①大分県災害ボランティア体験型研修会について

②災害関連事業について(報告)

③今後の行事予定について

④大分県災害時派遣専門ボランティア登録制度について

第3回 平成28年 3月17日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室3

内 容 ①平成27年度事業報告について

②平成28年度事業計画(案)について

②大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会

期 日 平成27年 3月17日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール

内 容 ①平成27年度事業報告について

②平成28年度事業計画(案)について

③団体の活動報告(3団体)

(2) 実践的災害ボランティア体験型研修会の開催

①大分県災害ボランティア体験型検討委員会

第1回 平成27年10月 5日(月)

第2回 平成27年11月 2日(月)

第3回 平成28年 1月15日(金)

第4回 平成28年 2月12日(金) ※報告会

②避難所体験型研修会

期 日 平成28年 1月29日(金)

場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 44名

内 容 図上訓練・避難所運営訓練

(3) 大分県災害ボランティア運営支援事業

①災害ボランティアセンター運営リーダー研修会

第1回 平成27年 6月11日(木)～12日(金)
場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール、豊の国健康ランド(大分市)
県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 1日目 35名、2日目 38名
内 容 講義「災害発生時の対応とボランティアネットワーク」
講師 NPO法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏
NPO法人コラボねっと客員研究員 村野 淳子 氏
事業説明、車座トーク、活動報告、パネルディスカッション、
ワークショップ、ディスカッションほか

第2回 平成27年10月 6日(火)
場 所 県総合社会福祉会館 3階大研修室
参加者 27名
内 容 講義・新たな情報共有システムの提案・事業の進捗状況確認・今後の
の計画作りほか
講師 NPO法人地域環境ネットワーク代表 三浦 逸朗 氏
講師 NPO法人コラボねっと客員研究員 村野 淳子 氏
大分県災害ボランティアセンター運営研修会検討委員
中津市社会福祉協議会 吉田 瑞穂 氏
竹田市社会福祉協議会 水野 匡也 氏
大分県消費生活・男女共同参画プラザ 安倍 誠 氏

第3回 平成28年 3月 4日(金)
場 所 別府亀の井ホテル
参加者 26名
内 容 ①災害ボランティアセンター立ち上げに関する机上訓練
②災害ボランティアセンターの諸様式の検討
③3年間事業の振り返りと今後の事業推進について
講 師 NPO法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏
NPO法人コラボねっと客員研究員 村野 淳子 氏
大分県災害ボランティアセンター運営研修会検討委員
中津市社会福祉協議会 吉田 瑞穂 氏
竹田市社会福祉協議会 水野 匡也 氏
大分県消費生活・男女共同参画プラザ 安倍 誠 氏

②災害ボランティアセンター運営リーダーステップアップ研修会

期 日 ①第1・2回 平成27年10月 1日(木)～ 2日(金)
②第 3回 平成27年11月 4日(水)～ 5日(木)
③第4・5回 平成27年12月15日(火)～16日(水)
場 所 ①県総合社会福祉会館4階

②佐伯市弥生 B&G 海洋センター

③県総合社会福祉会館 3階母子会議室、3階中研修室

参加者 ①27・24名 ②30・30名 ③11・11名

内 容 ①日本財団 次の災害に備えるための人材研修会

②日本財団 次の災害に備えるための「被災者支援拠点」運営訓練

③日本財団 次の災害に備えるための災害時エリアマネージャー養成研修

③災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会・モデル事業

第1回 平成27年6月10日(水)

場 所 県総合社会福祉会館 2階視聴覚室

参加者 9名

内 容 災害ボランティア運営支援モデル事業内容の確認
進め方の協議

第2回 平成27年7月27日～31日

場 所 27日玖珠町 29日佐伯市 30日大分市 31日中津市

内 容 各市町村によって異なる

第3回 平成27年11月10日～13日

場 所 10日中津市 11日玖珠町 12日大分市 13日佐伯市

内 容 各市町村によって異なる

第4回 平成28年 2月29日～ 3日 3日

場 所 29日佐伯市 1日玖珠町 2日中津市 3日大分市

内 容 各市町村によって異なる

第5回 平成28年 3月 4日(金)

場 所 別府亀の井ホテル

参加者 26名

内 容 ①災害ボランティアセンター立ち上げに関する机上訓練

②災害ボランティアセンターの諸様式の検討

③3年間事業の振り返りと今後の事業推進について

講 師 NPO 法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏

NPO 法人コラボねっと客員研究員 村野 淳子 氏

④市町村災害ボランティアネットワーク会議

大分県災害ボランティアネットワークの地域版を想定したネットワークづくり。各市町村単位で推進会議を開催。

<今年度協議体が立ち上がった地域>

玖珠郡 平成27年 5月26日(火)

竹田市 平成27年 7月 6日(月)

⑤災害ボランティアセンター運営現地研修（派遣研修）

第1班 平成27年 9月17日～22日（6日間）

場 所 栃木県鹿沼市社会福祉協議会

人 数 2名

内 容 現地業務支援、視察研修 等

第2班 平成27年 9月20～25日（6日間）

場 所 茨城県常総市社会福祉協議会

人 数 3名

内 容 現地業務支援、視察研修 等

(3) 平成27年度大分県中部地域総合防災訓練

災害時の市町村社協職員同士の連携強化及び役割確認等を行った。

期 日 平成27年 6月5・7日（金・日）

場 所 5日 九重町 7日 日田市

内 容 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等

(4) その他

①大分県災害ボランティアの登録

②全国被災地への支援（ボランティア、運営支援者等コーディネートなど）

③講師としての活動等

6 その他

(1) ふくしまっ子応援プロジェクト5

日 程 平成27年 7月22日（水）～26日（日）

参加者 福島県相馬郡新地町の小学生（5・6年生）18名と引率者3名
県内避難者家族10名（24日）

内 容 エフコープ商品検査センター（社会見学・実験等）、交流料理教室、
平和記念館見学等、山田堰見学、城島高原パーク、歓迎レセプション、
レクリエーション（折り紙づくり）、うみたまご・あそびーち見
学、海水浴（田ノ浦ビーチ）、おんせん体験、ホームステイ、大分
空港お別れ式

(2) 「フードバンクおおいた」設立準備会

日 時 平成28年3月17日（木）15:00～16:00

場 所 大分県総合社会福祉会館

内 容 ①フードバンクおおいた事業について
②フードバンクの説明
③フードバンクおおいたの内容について
④事務局体制について
⑤今後の予定について

参加者 41名

生活支援部

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

①相談受付の状況（平成27年4月～平成28年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	390 件

②契約締結の状況（平成27年4月～平成28年3月末）

契 約	締 結	解 約	合 計
	①	②	①－②
	208件	197件	11 件

【累計】

①相談受付の状況（平成11年10月～平成28年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	5,333 件

②契約締結の状況（平成11年10月～平成28年3月末）

契 約	締 結	解 約	現在締結件数
	①	②	③ (①－②)
	2,259件	1,510件	749 件

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、3カ月に1回を基本に開催し、生活支援員による調査の結果、利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

また、既契約締結済の利用者について、定期的な支援計画の見直しを行った。

開 催 日	審査件数
5月18日	0件
9月 3日	0件
11月 9日	1件
2月16日	0件
合 計	1件

(3) 関係機関との連携

関係機関連絡会議を開催し、日常生活自立支援事業に関する意見交換等を行った。

日常生活自立支援事業関係機関連絡会議

期 日 : 平成27年12月17日(木)

会 場 : 県総合社会福祉会館

内 容 : ア. 日常生活自立支援事業実施状況について
イ. 本県における日常生活自立支援事業の現状と課題
ウ. 質疑・協議

参加者数 : 18名

(4) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員(生活支援専門員・生活支援員)の資質向上に努めた。また、事業実施体制の充実を図るため、事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施について協議を行った。

① 第1回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成27年6月5日(金)

会 場 県総合社会福祉介護研修センター

内 容 **【報告】** 日常生活自立支援事業の現状と動向
【研究協議】 業務システムのデモンストレーション
業務システムに関する質疑応答

参加者 23名

② 第2回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成27年12月8日(火)、12月9日(水)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 **【研究協議】** 業務システムの操作説明

参加者 12月8日 8名 12月9日 16名

③ 日常生活自立支援事業新任担当職員研修会

期 日 平成27年 5月14日(木)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 ア. 日常生活支援事業の概要
イ. 専門員の役割
ウ. 専門員の業務
エ. 実務について

オ. 意見交換

参加者 14名

④ 生活支援員等事業関係職員研修会の開催

期 日 平成28年 2月26日(金)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 【講義・演習】

「日常生活自立支援事業における専門員・生活支援員に期待されること」

参加者 86名

(5) 各種会議・研修会等への出席

<県外>

① 全国日常生活自立支援事業担当部・課・所長会議

(平成27年5月29日)

② 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 I

(平成27年7月22日～23日)

<県内>

① 地域福祉を考える座談会(東部圏域)

② 大分市社協やすらぎ生活支援事業委員会

③ 大分県成年後見制度推進連絡会議

④ 法テラス地方協議会

(6) 普及・啓発

① パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレットを配付し、事業の周知を図った。

② 各種研修会等での事業説明

市町村社協、県・市町村、地域包括支援センター、介護支援専門員等関係者の参集する各種会議・研修会の場において、本事業の説明を行った。

開催日等	会議・研修名称	会場	参加人数
6月30日	臼杵市市民後見人養成講座	臼杵市社会福祉センター	20名
9月17日	大分市市民後見人養成講座	ホルトホール大分	40名
10月 8日	中津市市民後見人養成講座	中津市教育福祉センター	11名

(7) 諸課題への対応

ア. 業務システムの導入

契約件数が年々増加していることへの事務負担軽減として、平成27年11月末に大分県内全ての市町村社協に業務システムを導入し、県社協とを業務システムで結ぶネットワークを構築した。

イ. 「大分県日常生活自立支援事業推進マニュアル」の見直し

業務システムの導入に伴う月次報告方法の変更に伴い、諸様式の見直しや改訂を行った。

2. 権利擁護・成年後見推進事業

(1) 権利擁護・成年後見セミナー

権利擁護に係る制度や関係機関が果たす役割、権利擁護のあり方について再確認するとともに、今後の行政・関係機関・専門職相互の連携のあり方、取り組みの方法を考え、権利擁護活動の普及啓発を図るため、大分県地域生活定着支援センターとの共催により権利擁護・成年後見セミナーを開催した。

日 時 平成27年11月7日(土) 13:00～16:30

会 場 大分県総合社会福祉会館

内 容 第Ⅰ部 基調講演「少年犯罪と時代性」

～発達、愛着、虐待の観点から～

講師：国立大学法人 福島大学

子どものメンタルヘルス支援事業推進室

特任教授 榊屋 二郎 氏

第Ⅱ部 シンポジウム「子どもたちに向き合う現場から」

～日々の関わりから見えてくるもの～

シンポジスト

小林 美由紀 氏 (ぱすたの会)

河野 博明 氏 (児童アフターケアセンターおおいた)

濱水 文花 氏 (大分県地域生活定着支援センター)

参加者 163名

(2) 権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催

期 日 平成27年12月17日(金) 15:00～16:00

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 ・ 権利擁護・成年後見推進事業について
・ 日常生活自立支援事業の実施状況について
・ 質問事項・協議内容

参集団体 福祉行政関係機関、福祉関係団体、司法関係機関等

参加者 12名

(3) 権利擁護・法人後見セミナーの開催

期 日 平成28年3月14日(月) 13:00～16:00

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 第Ⅰ部 基調講演「スタートアップ法人後見」

～実施に向けたロードマップを見つけるために～

講師：太閤法律事務所 代表弁護士 靱倉 了胤 氏

第Ⅱ部 シンポジウム「社協が取り組む法人後見」

～実践で学ぶ、見えてきた課題～

シンポジスト 渡邊 大輔 氏 (中津市社協)

吉田 明美 氏 (臼杵市社協)

阿部 友輝 氏 (県地域福祉推進室)

参加者 24名

福祉資金課

本年4月1日から、総合支援資金と緊急小口資金（臨時特例つなぎ資金）は自立相談支援制度の利用を貸付の要件とすることになった。

そこで関係機関の連携を図るため、両制度の担当者の合同研修会を開催し、制度周知と課題の共有を図った。

1 生活福祉資金貸付事業の運用強化

(1) 委員会の開催 ※ () H26年度実績

①生活福祉資金貸付審査等運営委員会	10回	(12)回
②生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会	10回	(8)回
③不動産担保型資金審査会	2回	(2)回

(2) 借入申請・決定状況

①生活福祉資金 (単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	15	4,640	16	4,672
(1) 生活支援費	10	3,993	11	4,025
(2) 住宅入居費	3	420	3	420
(3) 一時生活再建費	2	227	2	227
2 福祉資金	649	71,101	638	63,684
(1) 福祉費	83	30,713	74	23,284
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	566	40,388	564	40,400
3 教育支援資金	68	16,777	68	16,639
(1) 教育支援費	24	5,462	24	5,452
(2) 就学支度費	44	11,315	44	11,187
4 不動産担保型生活資金	2	4,585	6	41,655
(1) 不動産担保型生活資金	0	0	1	8,956
(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	4,585	5	32,699
計	734	97,103	728	126,650

※ 決定件数・金額が申請件数・金額を上回っているのは、申請受理日と決定日が年度を超えたことによるものである。

②臨時特例つなぎ資金 (単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	13	664	13	664

(3) 生活福祉資金貸付決定件数・金額の推移

(単位：千円)

資金種類	平成27年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	16	4,672	35	11,608
(1) 生活支援費 (更新分)	11 (0)	4,025 0	29 (1)	10,188 558
(2) 住宅入居費	3	420	3	426
(3) 一時生活再建費	2	227	3	436
2 福祉資金	638	63,684	549	61,422
(1) 福祉費	74	23,284	76	30,493
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	564	40,400	473	30,929
3 教育支援資金	68	16,639	69	20,037
(1) 教育支援費	24	5,452	26	7,592
(2) 就学支度費	44	11,187	43	12,445
4 不動産担保型生活資金	6	41,655	3	25,524
(1) 不動産担保型生活資金	1	8,956	1	12,624
(2) 要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	5	32,699	2	12,900
計	728	126,650	656	118,591

(4) 資金種類別償還率

(単位：円)

資金種類	償還計画額(A)	償還実績(B)	償還率(B/A)
総合支援資金	26,586,315	12,154,665	45.72%
更生資金	330,206	195,206	59.12%
(障害者) 更生資金	525,000	525,000	100.00%
福祉資金	22,685,765	17,593,785	77.55%
福祉資金(住宅)	89,280	89,280	100.00%
教育支援資金	35,784,770	22,786,440	63.68%
緊急小口資金	22,644,590	19,546,556	86.32%
生活復興支援資金	498,120	253,200	50.83%
離職者支援資金	456,960	0	0.00%
合計	109,601,006	73,144,132	66.74%

※ 期限内の健全債権に係る当年度の償還計画額・償還実績額・償還率を表示。

(5) 償還率

(単位：円)

償還計画額		償還済額		償還率		
現年度	累計	現年度	累計	現年	過年	累計
過年度		過年度				
128,475,936	10,334,548,701	73,317,542	8,849,419,776	57.0%	8.4%	85.6%
662,574,488		56,121,685				

(6) 償還免除申請等決定状況

①償還免除

決定件数	40件	(53)件
元 金	7,272,250円	(41,193,943)円
利 子	353,961円	(3,327,893)円
延滞利子	10,920,876円	(62,117,009)円

②延滞利子免除

決定件数	36件	(38)件
決定金額	12,624,506円	(5,433,346)円

③償還猶予

決定件数	11件	(12)件
------	-----	---------

(7) 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(8) 償還指導の実施

①面接指導回数	158回	(129) 回
②面接指導件数 (延べ)	416件	(324) 件

(9) 研修会等の実施

①市町村社協事務担当職員会議	3回	(2)
②市町村社協事務担当・生活困窮担当職員 合同研修会	2回	(0)
③民生委員研修会・会議等での制度説明	1回	(4)

(10) 広報の実施

- ①広報用パンフレットの配布
- ②ホームページによる情報提供

(11) 全国及び九州ブロック会議等への参加

- ①全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会
- ②全国生活福祉資金担当部課長会議
- ③九州ブロック生活福祉資金運営研究協議会

(12) 生活再建・償還相談事業

①対象世帯 (先) 数

滞納が初期段階と概ね6か月以上滞っている世帯 (先) を中心に実施。

②取組内容

- 訪問、面談による償還相談
- 償還相談会
- 負債内容、償還実績および今後の償還計画に関する通知
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理（電話、通知、再面談等）

③償還相談、償還指導の取り組み

- ア．訪問または面談先数(延べ数)
訪問先数、延べ416先（うち面談数 158先）
- イ．償還相談会
開催回数 30回、対象者252名（借受人、連帯保証人）
- ウ．借受人または連帯保証人の現況および償還計画報告に関する通知
204件

④取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知することにより、生活福祉資金の返済に関する誓約書等受領および回収実績は、以下のとおりとなった。

- ①27年度生活福祉資金管理案件回収実績（継続管理中の25年度取扱案件も含む）

単位：円

大分市	別府市	杵築市・日出町	その他	計
13,108,665	5,252,497	8,451,705	12,353,316	39,166,183

②誓約書等受領件数（取組内容別）

訪問	郵便(通知書)	電話	面談	計
90	80	490	57	717

施設団体支援部

社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の展開を図るため、県内社会福祉法人（施設）関係者で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」を設置し、施設職員（CSW）による、制度の狭間で困っている生活困窮者等に対する相談支援事業「おおいたくらしサポート事業」等を開始した。

種別協議会の支援を通じて、各種調査・研究活動、研修事業等を行うとともに、社会福祉法人制度改革等に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

また、委託事業による球技大会等の実施や各種別協議会が主催する九州関係の研修や研究大会の運営を支援を行った。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の展開

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して地域公益活動（社会貢献）を展開する「大分県社会福祉法人社会貢献活動事業推進協議会」を設置した。

- (1) 大分県社会貢献活動推進協議会設立総会
平成27年7月3日（会員93施設加入）
- (2) 大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催
年3回開催（8月・11月・3月）
- (3) 「おおいたくらしサポート事業」の推進
事業説明会、関係機関連絡会議等の開催（年4回）
社会福祉法人（施設）のCSWによる生活困窮者等への相談支援事業
 - ・相談対応件数 73件
 - ・経済的援助件数 38件（現物給付）
- (4) 人材養成の実施
コミュニティソーシャルワーカー養成研修会の開催（2回）
 - ・（第2回）平成27年6月5日・6日・23日（3日間）
 - ・（第3回）平成27年10月23日・24日・11月5日（3日間）先進地視察研修
 - ・平成27年7月17日（熊本レスキュー事業等）
 - ・平成27年12月7日（大阪レスキュー事業等）相談援助技術研修会
 - ・平成28年3月5日
- (5) 啓発セミナーの実施
「社会福祉法人による地域公益活動の展開を考えるセミナー」の開催
 - ・平成27年11月14日「施設・社協・地域資源との連携協働による地域福祉推進の展開を考えるセミナー」の開催

・平成28年3月24日

2 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と入所者処遇の向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

平成27年度の相談実績は138件となった。

相談実績

項目	件数(件)	割合(%)
入所者処遇に関する事	33	23.9
施設経営に関する事	32	23.2
職員の処遇に関する事	5	3.6
会計及び経理に関する事	2	1.4
施設整備に関する事	2	1.4
その他の運営に関する事	64	46.5
合計	138	100.0

(2) 集団指導「施設経営者及び若手幹部職員研修」

(3) 福祉施設「意見交換会」

3 社会福祉施設経営支援事業

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした各種研修会・セミナーを10回実施した。

- ①ホスピタリティを表現する接客マナー研修 ②効果的な部下・新人育成の実務研修、③職場内研修の手法研修 ④福祉事業者管理者のためのマネジメント基礎研修 ⑤管理者のためのコミュニケーション研修 ⑥モチベーションを向上させる人事考課研修 ⑦クレーム対応研修 ⑧権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修 ⑨プロ意識醸成研修 ⑩利用者満足(CS)向上研修会

4 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について18大学から269名の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

県内・県外の別	大学名等	体験者数(人)
県内	大分大学等 5大学	237
県外	京都外大等 13大学	32
総計	18大学	269

5 児童福祉関係行事委託事業の実施

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、各種スポーツ大会を実施した。

- (1) 平成27年度大分県知的障がい施設球技大会（ティールール・グラウンドゴルフ）
- (2) 第54回大分県児童福祉施設等球技大会
- (3) 第51回大分県児童福祉施設等卓球大会

6 種別協議会等の運営の支援

(1) 大分県老人福祉施設協議会

① 各種会議等の開催

総会（1回）、正副会長会議（4回）、役員会（5回）、制度政策専門委員会（1回）、在宅専門委員会等（3回）、研修専門委員会（4回）、特養委員会（3回）、軽費・ケアハウス委員会（3回）、デイサービス委員会（1回）

② 研修会等の開催

九社連老人福祉施設協議会施設長研修会、県内施設長研修会、生活相談員研修会、トータルケア研修会、メンタルヘルス研修会、虐待防止研修会、認知症研修会、実践研究大会、法務対策セミナー等の開催

③ その他の活動

「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、法務対策協議会事業の実施、県福祉保健部職員施設体験実習の受入協力、予算要望活動、県との意見交換会等

(2) 大分県身体障害児者施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会（2回）

② 研修会の開催

障害者差別解消法に関する研修会

③ 国・県に対する要望活動の実施

④ 関係団体会議等への出席

⑤ 介護ロボット普及に関する会議出席

(3) 大分県児童養護施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会（5回）、研修運営委員会（8回）、機関紙編集委員会（1回）

② 研修会等の開催

新任職員研修会、調理師・栄養士等職員研修会、社会的養護を考える現場のトップセミナー、施設職員合同研修会、施設心理士連絡研修会、施設看護師連絡研修会、児童ふれあい交流会等

③ 啓発事業

「オレンジリボンたすきリレー」の実施

④ その他の活動

- 機関誌「ふうえる」の発行
国・県に対する要望活動の実施
⑤九社連児童養護施設協議会事務局支援

(4) 大分県知的障害者施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（4回）、施設長会（2回）、研修委員会（3回）
- ② 研修会の開催
職員研修会（1回）
- ③ 各種スポーツ大会等の開催
第35回大分県ゆうあいスポーツ大会、第51回卓球大会、第19回施設利用者ボウリング大会、親善球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ）
- ④ 虐待防止法対応アンケートの実施及び集計
- ⑤ その他の活動
国・県に対する要望活動の実施
- ⑥九州地区知的障害者福祉協会事務局支援

(5) 大分県就労支援事業所協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（3回）、役員会（2回）、研修委員会（1回）、PR委員会（2回）
- ② 研修会・大会等の開催
施設長研修会開催、職員研修会（見本市）の開催
- ③ その他の活動
セルフ自動販売機設置事業の推進、セルフモールおおいた、官公需受注活動の推進（大分県共同受注事務局との連携会議開催）、工賃向上に向けた各種販売会の取り組み、国・県に対する要望活動の実施

(6) 大分県母子生活支援施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、施設長会（1回）
- ② 研修会の開催
職員研修会（施設見学等）

(7) 大分県里親会

- ① 各種会議等開催
理事会（3回）、総会（1回）
- ② 研修会等の開催
里親交流会、里親支援専門相談員との意見交換会
- ③ 里親サロン事業

(8) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、理事会（4回）、幹事会（3回）
- ② 研修会等の開催
県内研修会、ブロック別研修会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーの参加
- ③ その他の活動
国、県、市町村に対する要望活動の実施

(9) 大分県社会福祉法人経営者協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（2回）、正副会長会（1回）
- ② 研修会の開催
防災士養成研修（3日間）、制度改革対応セミナー（2回）
- ③ その他の活動
福島県特養施設への介護職員派遣（1名）
経営協情報の提供
- ④ 国、県に対する要望活動の実施

(10) 大分県社会福祉法人経営青年会

- ① 各種会議等開催
総会（1回）、役員会（3回）
- ④ 研修会等の開催
4Eの会、経営研修会、知事、県福祉保健部との意見交換会

(11) 大分県生活サポート協会

- ①理事会等の開催
総会（1回）、理事会（2回）、生活サポート協会九州ブロック会議
- ②研修会
労務リスク対策研修（1回）

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

回数	期 日	主 な 内 容
第1回	4月23日	(1)平成26年度事業実績及び決算見込について (2)平成27年度事業計画及び収支予算について (3)社会的養護関係施設第三者評価調査者の有効期間及び外部評価実施要綱等の改正について
第2回	8月27日	(1)外部評価実施要領の一部改正について (2)平成27年度事業の進捗について
第3回	12月10日	(1)平成27年度事業の進捗について
第4回	2月24日	(1)平成27年度事業の進捗について

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

期 日	主 な 内 容
3月11日	(1) 評価センター事業経過報告 (2) 地域密着サービス等外部評価事業経過報告 (3) その他

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構の WAM・NET や当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

種 別	H27 件 数	H26 件 数	H25 件 数	H24 件 数
特別養護老人ホーム	2		1	1
通所介護	4	1	2	1
訪問介護	1	1		2
保育所	3		1	1
訪問看護				

居宅介護支援				
障害者支援施設	1	2		
児童養護施設	2	4	3	2
母子生活支援施設		1	2	
児童自立支援施設		1		
乳児院		1		
障害児入所施設		1	1	
医療型障害児入所施設			1	
計	13	12	11	7

(2) 地域密着型サービス等外部評価

種 別	H27 件 数	H26 件 数	H25 件 数	H24 件 数
認知症高齢者グループホーム	65	46	64	52
小規模多機能型居宅介護支援事業所	—	15	16	15
計	65	61	80	67

※平成22年度より、「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された場合、外部評価実施回数が緩和されること（2年に1度受審）となったため件数が減少している。

※平成27年度より、大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱及び地域密着型サービス等外部評価実施要領が改正されたため、小規模多機能型居宅介護支援事業所は外部評価から除外した。

4 研修・会議の開催

研 修 名	期 日	会 場	参加者
社会的養護関係施設第三者評価事業調査者継続研修会	4月27日～ 28日	大阪府社会福祉協議会	2名
福祉サービス第三者評価事業評価調査者リーダー研修会（保育所）	2月15日～ 16日	全国社会福祉協議会	1名
第三者評価調査者及び外部評価調査員合同研修会	7月9日	県労働福祉会館	10名
第三者評価調査者及び外部評価調査員意見交換会	1月28日	県労働福祉会館	11名

5 第三者評価機関に関する情報公開

当センターのホームページに、規程をはじめ、評価手数料等を公開している。

身体障害者福祉センター

I 管理業務の実施状況

1 事業の成果

障がい者の社会参加を推進するため、障がい者関係団体、ボランティア等の協力を得て、スポーツ・レクリエーション、機能訓練、文化活動等の各教室を延べ160回開催した。

また、障がい者関係団体等の会議、研修、訓練の場として便宜を供与するとともに各種文化行事、スポーツ大会等を開催した。

2 サービス改善事業成果

地域交流を促すため、第5回ふれあいフェスタを開催した。ふれあいフェスタは、障がいについての理解を深める講演会、関係施設や団体等によるふれあい市、福祉機器の展示、お茶会、音楽演奏、健康相談等の体験を実施した。

II 管理施設の利用状況

1 全体の利用状況

	平成27年度	平成26年度	前年対比
開所日数	302日	304日	-0.7%
障がい者利用者数	28,622人	27,303人	4.8%
介護者・ボランティア	11,431人	11,789人	-3.1%
福祉団体等	9,692人	10,031人	-3.4%
障がい者以外利用者	29,114人	28,965人	0.5%
総利用者数	78,859人	78,088人	0.9%

2 利用登録団体

- ① 文化施設利用登録団体 (73団体)
- ② スポーツ団体利用登録団体 (35団体)

Ⅲ 平成27年度の主催行事等

1 教室・講座等の開催

(1) スポーツ・レクリエーション教室

No.	教室名	講師	期間	曜日	時間	内容
1	親子スポーツ教室(ジュニア)	山崎 陽二 フィットネストレーナー	5月～ 2月	日曜日	13:30～ 15:00	リズムダンス、ストレッチ、トランポリンなど 様々な運動をレクリエーションで体感し、 体を動かす楽しさを学びました。
	15:00～ 16:30					
2	親子水泳教室	藤本正広 県障がい者福祉水泳協会	5月～ 2月	日曜日	10:00～ 11:30	様々な年代の参加者が講師の指導のもと 水慣れや、遊泳を楽しみました。
3	卓球バレー教室	佐藤貞子 卓球バレー認定資格者	4月～ 3月	土曜日	10:30～ 12:00	卓球台を6人1チームで卓球台を囲み ゲーム形式で取り組みました。障がいの 程度に関係なく、楽しむことのできる 競技です。
4	太極拳教室	田島 薫 県武術太極拳協会指導員	5月～ 9月	土曜日	10:30～ 12:00	呼吸を調整することで体質強化に活か していきます。
5	キッズエアロビク教室	宇野恵子 公認エアロビクス指導員	6月～ 8月	土曜日	10:00～ 11:00	子どもたちと楽しく音楽によって心地よい 汗を流しました。
6	スポーツ吹矢教室	大西實 日本スポーツ吹矢協会公認 指導員	11月～ 2月	土曜日	10:30～ 12:00	腹式呼吸を応用した「スポーツ吹矢式 呼吸」を使い健康増進をはかり、的を 狙う楽しさを体感しました。

(2) 趣味・文化教室

No.	教室名	講師	期間	曜日	時間	内容
7	料理教室A	櫻井 キヨ 食生活推進協議会員	5月～ 2月	土曜日	10:00～ 13:00	料理づくりを通して、参加者同士の交流を 深める楽しい教室を実施しました。
	日曜日					
8	絵画教室	甲原 安 国画会会員	5月～ 2月	土曜日	13:30～ 15:30	絵画をはじめとした芸術に触れ、絵を描 くことの楽しさを学ぶ教室となりました。
9	書道教室	河野 悦子 県美術協会会員	5月～ 2月	土曜日	13:30～ 15:30	毎回講師の手本をもとに楷書・行書・ かな文字等を習得しました。
10	絵手紙教室	原野 彰子 絵手紙協会認定講師	5月～ 2月	日曜日	10:00～ 12:00	四季の野菜や花を楽しみながら絵手紙 を作成しました。
11	音感教室	高橋 恵子 音感クラブドレミ主宰	5月～ 2月	土曜日	13:30～ 15:30	音楽を通じて、みんなで楽しく演奏等を行 い、楽器は個人々に応じたものを先生 に選んでもらいました。
12	パソコン教室(データ活用)	小野 史洋 センター支援ボランティアSE	5月～ 2月	日曜日	10:00～ 12:00	エクセルを使い、便利な機能について 学び、スキルアップをはかりました。
13	パソコン教室(文書作成)	NPO法人 障害者UP大分プロジェクト	10月～ 2月	日曜日	10:00～ 12:00	ワードを使い、ちらし等の作成を行 いました。

(3) 機能訓練教室

No.	教室名	講師	期間	曜日	時間	内容
14	水中ウォーキング教室	木城 八都子	5月～ 10月	金曜日	10:00～ 11:30	水中歩行のポイントを学ぶとともに音楽にの せて歩きリハビリを体験しました。
15	健康からだづくり教室	芝崎 信也	10月～ 2月	日曜日	10:30～ 12:00	まず、身体状況等の問診を行い、無理せず使 うことのできる機能をしっかり使いからだを動 かし、楽しみました。
16	水中リフレッシュ教室	NPO法人 にこにこフィットネス協会	10月～ 3月	水曜日	13:00～ 14:00	入水前の準備運動や水分補給等普段意識 をしない身体を使い、身体機能を高めながら 楽しく学ぶことができました。

(4) チャレンジ教室

No.	教室名	講師	期日	曜日	時間	内容
17	おりがみ教室	羽田 清子 日本おりがみ学会指導員	5月10日	日曜日	10:00～ 12:00	手軽にできるおりがみでの作品づくりを通じて 参加者同士の交流を深めました。
18	ミニテニス教室	太陽の家テニスクラブ SPASH	6月28日	日曜日	10:00～ 12:00	ミニテニスを通じてからだを動かすことの楽し さを体感しました。
19	体も脳もいきいきリフレッシュ教室	NPO法人 にこにこフィットネス協会	7月11日	土曜日	10:00～ 12:00	体幹を強化するためボールなどを使った運動 などを行いました。
20	フライングディスク教室	大分県障害者 フライングディスク協会	10月3日	土曜日	10:00～ 12:00	フライングディスクを楽しみ、参加者同士の交 流を深めました。

(5) 健康講座

No.	教室名	講師	期日	曜日	時間	内容
21	楽しく予防しよう生活習慣病	アロマインストラクター 中田智子	6月14日	日曜日	10:00～ 12:00	生活習慣の中の食生活に関する内容とアロ マセラピーに関しての講義を実施しました。
22	知っているつもりの障害年金	社会保険労務士 飯塚 泰雄	7月5日	土曜日	10:00～ 12:00	障害年金の知識についてクイズをしながら 参加者が分かりやすく学びました。
23	楽しく予防しよう生活習慣病(調理実習編)	栄養士 中田智子	8月8日	土曜日	10:00～ 12:00	低カロリーでも楽しめるメニューを料理し、参 加者同士の交流を深めました。

(6)教室別参加人数内訳

① スポーツ・レクリエーション教室

NO	教室名	回数	受講者・参加者内訳						介護	ボラン	福祉	合計	平成26年度	
			障がい者											
			肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神						小計
1	親子スポーツ教室	10		8		185		23	216	185		29	430	394
2	親子水泳教室	10	24	7		54		11	96	113	36	55	300	194
3	卓球バレー教室	10	23			69			92	37	2	18	149	229
4	太極拳教室	5	9			4	3		16	4		15	35	50
5	キッズエアロビック教室	5				27		1	28	54		8	90	45
6	スポーツ吹矢教室	6	12			15	2	4	33	13	2	17	65	95
合計		46	68	15	0	354	5	39	481	406	40	142	1,069	1,007

② 趣味・文化教室

NO	教室名	回数	受講者・参加者内訳						介護	ボラン	福祉	合計	平成26年度	
			障がい者											
			肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神						小計
7	料理教室	18	30	8	21	80		5	144	57	51	39	291	315
8	絵画教室	10	46			58	1	8	113	61	23	30	227	185
9	書道教室	10	29	6		27			62	43	11	23	139	141
10	絵手紙教室	10	69		6	12	2	7	96	18	33	26	173	149
11	音感教室	11	10	7		33		1	51	52	11	24	138	152
12	パソコン教室(データ活用)	10	22	6		33			61	23	15	14	113	83
13	パソコン教室(文書作成)	6	13		4	7			24	11		6	41	182
合計		75	219	27	31	250	3	21	551	265	144	162	1,122	1,207

③ 機能訓練教室

NO	教室名	回数	受講者・参加者内訳						介護	ボラン	福祉	合計	平成26年度	
			障がい者											
			肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神						小計
15	水中ウォーキング教室	15	182				14		196	32	10	33	271	228
16	健康からだづくり教室	7	17			17			34	7		7	48	76
17	水中リフレッシュ教室	10	101				14	6	121	28		27	176	164
合計		32	300	0	0	17	28	6	351	67	10	67	495	468

④ チャレンジ教室

NO	教室名	回数	受講者・参加者内訳						介護	ボラン	福祉	合計	平成26年度	
			障がい者											
			肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神						小計
17	おりがみ教室	1	8			4			12	4	1	3	20	-
18	ミニテニス教室	1	4			8			12	4	3	5	24	-
19	体も脳もいきいきリフレッシュ教室	1	4			3		2	9	3		2	14	-
20	フライングディスク教室	1	2			2			4	2		3	9	-
合計		4	16	0	0	15	0	2	33	13	4	13	63	-

⑤ 健康講座

NO	教室名	回数	受講者・参加者内訳						介護	ボラン	福祉	合計	平成26年度	
			障がい者											
			肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神						小計
21	楽しく予防しよう生活習慣病	1	8			2			10	1	3	5	19	-
22	知っているつもり障害年金	1	6			1			7	5		6	18	-
23	楽しく予防しよう生活習慣病(調理実習編)	1	9			2			11	2	2	4	19	-
合計		3	23	0	0	5	0	0	28	8	5	15	56	0

教室 総 計		160	626	42	31	641	36	68	1,444	759	203	399	2,805	2,682
--------	--	-----	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----	-----	-----	-------	-------

2 スポーツ大会

(1) 第13回大分県身体障害者福祉センター卓球バレー大会

期 日 平成27年4月19日(日)

参加者 13チーム 100名(うち障がい者 70名)

優 勝	準 優 勝	第 三 位
中津ろう・タイガーA (中津市)	安心院スッポクラブ (宇佐市)	チームZERO (別府市)

(2) 第30回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会

期 日 平成27年4月26日(日)

参加者 153名(うち障がい者 44名) ※三位決定戦未実施

種目	優 勝	準 優 勝	第 三 位	
会長杯の部	大和 大輔 (別府市) はるかぜ	吉藤 慎也 (大分市) 豊和卓球	小竹 紀広 (大分市) NEXT	木村 孝 (大分市) 無限塾
交歓の部	森末 一生 (大分市) 春日クラブ	秋吉 暉夫 (大分市) 春日クラブ	安部 裕司 (大分市)	舟木 重哲 (杵築市) 太陽の家

(3) 第21回大分県身体障害者福祉センターふうせんバレーボール大会

期 日 平成27年5月31日(日)

参加者 15チーム 154名(うち障がい者 77名)

部 門	優 勝	準 優 勝	第三位
由布ブロック	大分ふうせんバレーボール 振興委員会(宇佐市)	天領ひた (日田市)	日田大山うめくり (日田市)
鶴見ブロック	美多みんシックス (大分市)	ベビーモンスター (大分市)	大分県糸口厚生園 (宇佐市)

(4) 第30回大分県身体障害者福祉センターサウンドテーブルテニス大会

期 日 平成27年7月12日(日)

参加者 23名(対象:視覚障がい者)

	優 勝	準 優 勝
全盲男子の部	富川 健二(宮崎県)	幸 和久(大分市)
全盲女子の部	藤田 泰子(山口県)	豊武 敦子(中津市)
弱視男子の部	小園 勇(宮崎県)	豊武 憲十郎(中津市)
弱視女子の部	小園 文子(宮崎県)	歌津 美智子(宮崎県)

(5) 第11回大分県身体障害者福祉センターフライングディスク大会

期 日 平成27年11月29日(日)

参加者 41名

内 容 アキュラシー(的あて)でどれだけ多く通過するかで競います。

種目	優 勝	準 優 勝	第 三 位
7mの部	持田 朗(別府市)	倉富 和子(別府市)	小田 晋司(別府市)

種目	優 勝	準 優 勝	第 三 位
5mの部	柴尾 洋史(大分市)	岩田 隆弘(大分市)	岩本 啓三(大分市)
	第 四 位	第 五 位	第 六 位
	長 孝至(別府市)	佐藤 拓治(大分市)	中野孝太郎(大分市)

(6) 第2回大分県身体障害者福祉センタースポーツ吹矢大会

期 日 平成28年3月6日(日)

参加者 14名

内 容 的あてでどれだけ多くの点を取るかで競います。

種目	優 勝	準 優 勝	第 三 位
6mの部	高橋 正(大分市)	森 利子(大分市)	久原 芳夫(大分市)

3 趣味・文化行事大会

(1) 夢物語作品展

平成27年11月11日(水)～15日(日)開催

教室受講生や講師の作品を身障センターの展示スペース(1、2階)にて展示。

(各部門の作品数)

展示内容	平成27年度	平成26年度
絵 画	22	18
書 道	7	9
絵 手 紙	44	51

(2) 第31回大分県身体障害者福祉センター囲碁大会

期 日 平成27年12月13日(日)

参加者 5名

実施方法 置き碁にて総当たりで対戦。

優 勝	準 優 勝
坂田 正晴(大分市)	原田 耕一(大分市)

(3) 第31回大分県身体障害者福祉センター将棋大会

期 日 平成28年1月31日(日)

参加者 18名

実施方法 A(有段者) B(1~3級) C(初心者等)のレベル別に分かれ対戦。

種目	優 勝	準 優 勝
A クラス	重見 次生 (宇佐市)	村尾 猛 (大分市)
B クラス	工藤 義夫 (大分市)	原田 耕一 (大分市)
C クラス	篠田 一徳 (大分市)	樋口 賢司 (大分市)

4 ボランティアの育成

(1) ボランティアの活動状況(延べ参加人数)

区 分	回 数	平成27年度	平成26年度
教室	160	203	203
大会・行事	8	79	73

(2) サポーター研修

日 時 平成28年1月23日(土) 13:30~14:40

内 容 演習「伝えること、コミュニケーションの秘訣」

参加者 13名

5 障がい者福祉関係機関、団体等への支援協力

(1) 第33回24時間マラソンスポーツ大会

主 催 24時間マラソンスポーツ大会実行委員会

日 時 平成27年8月22日(土) 10:00~19:00

内 容 バスケットボール競技(車いすバスケット、ツインバスケット)

(2) 第30回障害者による書道・写真全国コンテスト

主 催 (財)日本リハビリテーション協会

実施機関 全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)

募集期間 平成27年7月28日~9月30日

内 容 ○書道の部 18点出展(全国 972点応募)

○写真の部 8点出展(全国 227点応募)

審査結果 ○書道の部 銅賞 「にじ」林 郁香(ふみか)さん(別府市)

○写真の部 銅賞 「能古島の春」南 啓子さん(大分市)

6 センター利用調整会議

(1) 第1回(平成27年度下半期施設利用調整会議)

日 時 平成27年7月22日(水) 18:00~19:00
団 体 数 22団体 24名 手話通訳2名
内 容 ○各施設の利用について
○身障センターへの意見・要望等

(2) 第2回(平成28年度上半期施設利用調整会議)

日 時 平成28年1月30日(土)
団 体 数 30団体 34名 手話通訳2名
内 容 ○各施設の利用について
○身障センターへの意見・要望等

7 運営委員会

日 時 平成28年2月23日(火) 13:30~15:00
内 容 ○平成27年度事業報告について
○平成28年度事業計画(案)について

8 体験実習および施設見学等の受け入れ

(1) 大分市立日岡小学校特別支援学級

期 日 平成27年10月16日(金)
内 容 卓球、温水プール等のレクリエーション利用
参加者 19名

(2) 産業現場等実習における実習生の受け入れ

期 間 平成27年12月8日(火)~11日(金)
時 間 9:00~16:00
対象者 県立豊学校高等部3年生 1名

(3) 内閣府青年社会活動コアリーダー育成プログラム(見学コース)施設見学の受け入れ

期 間 平成28年3月3日(木) 9:00~11:30
参加者 28名(イギリス、ドイツ、オーストリアのソーシャルワーカー
通訳、スタッフ等)

9 職員の会議、研修等

(1) 身障センター内職員研修〔会場：身障センター事務室等〕

① 第1回

日時 平成27年 4月30日(木) 10:30~11:30

内容 プール設備(濾過器等の管理) 九州化工(株)代表取締役 松山 正喜 氏

参加者 7名

② 第2回

日時 平成27年6月3日(水) 10:30~12:00

内容 リスクマネジメント、受付事務の業務確認

参加者 7名

③ 第3回

日時 平成27年12月11日(金) 13:30~14:30

内容 リスクマネジメント、伝達講習「適切なコミュニケーション」

参加者 8名

(2) 日本オストミー協会大分県支部 第27回通常総会

平成27年4月28日(火) 視聴覚室 1名参加

(3) 大分県プール安全管理講習会

平成27年5月22日(金) 県教育会館多目的ホール 2名参加

(4) 県有建築物の保全に係わる研修会

平成27年5月26日(火) 県正庁ホール 1名参加

(5) 県障害者社会参加推進協議会定期総会

平成27年5月28日(木) 県母子父子センター会議室 1名参加

(6) 大分市消防局普通救命講習

平成27年6月19日(金) 大分東消防署 1名参加

(7) 社会福祉施設等新任職員研修会

平成27年7月1日(水) 県社会福祉介護研修センター 3名参加

(8) 大分市消防局普通救命講習

平成27年7月19日(日) 大分東消防署 1名参加

(9) 指定管理評価委員会

平成27年7月28日(火) 県庁41会議室 2名参加

(10) 平成27年度災害時支援活動整備事業プロジェクト会議

平成27年7月30日(木) ホルトホール大分会議室 1名参加

(11) 平成27年度障害者福祉センター管理運営研修会

平成27年10月1日(木)~2日(金) 新潟県新潟市 1名参加

(12) 平成27年度九州地区障がい者相談支援事業研修会

平成27年11月5日(木)~6日(金) オアシスホテル 1名参加

(13) 「第9回福祉施設のためのリスクマネジメント研修会」

平成27年11月20日(金) 損保ジャパン日本興亜ビル 2名参加

- (14) 食品衛生責任者養成研修会
平成27年12月16日(水) 県教育会館 1名参加
- (15) 大分市消防局上級救命講習
平成27年12月17日(木) 中央消防署 2名参加
- (16) 第155回プール衛生管理者講習会
平成28年1月28日(木)～29日(金) 福岡市 1名参加
- (17) 赤十字水上救助法救助員I種養成講習会
平成28年2月28日(日)29日(月)、3月7日(月) 由布市挾間町 1名参加
- (18) 県社協職員人権研修
平成28年3月2日(水)、4日(金) 県総合社会福祉会館 6名参加

10 大会等

- (1) 第34回24時間マラソンスポーツ大会 開閉式
平成27年8月22日(土) 身体障害者福祉センター 体育室 1名参加
- (2) 第30回大分県身体障がい者ゲートボール大会
平成27年9月17日(木) 七瀬川自然公園グラウンド 1名参加
- (3) NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・大分20周年記念式典
平成27年9月20日(日) トキハ会館 1名参加
- (4) 第30回大分県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会
平成27年10月14日(水) 七瀬川自然公園グラウンド 1名参加
- (5) 平成27年度「ときめき作品展」
平成27年11月26日(木) iichiko アトリウムプラザ 1名参加

11 施設・設備の維持管理状況

(1) 施設維持管理

① 温水プールの水質検査 ※ 各項目とも検査基準に適合

(毎日) 残留塩素、水温管理

(毎月) 委託業者(株) エスク横浜分析センター

検査項目	検査日	
ア 水素イオン濃度	4月 8日	10月 1日
イ 濁度	5月 6日	11月 4日
ウ 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	6月 2日	3月 1日
エ 大腸菌	7月 1日	—
オ 一般細菌	8月 5日	—
※12月～1月は、温水プール休止のため検査なし	9月 2日	—

(年1回) 委託業者 (株) エスク横浜分析センター

検査項目	検査日
ア 総トリハロメタン (クロホルム、ジブromクロロメタン、ブromクロロメタン、ブromホルム)	7月1日
イ レジオネラ属菌	

② 冷水機水質検査 ※ 各項目とも検査基準に適合

検査項目	検査日
硝酸態窒素および亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物、一般細菌、大腸菌、PH 値、色度、濁度、鉛、亜鉛、鉄、銅およびその加工物、蒸留残留物、臭気、味	12月1日

③ 温水プール水の入替および掃除 委託業者：(株) メンテナンス

- ア 平成27年7月19日(日)～20日(月)
清掃日 平成27年7月20日(月)
- イ 平成27年9月20日(日)～22日(火)
清掃日 平成27年9月21日(月)
- ウ 平成28年1月24日(日)～平成28年1月27日(水)
清掃日 平成28年1月25日(月)

④ 消防設備関連 委託業者：(株) メンテナンス

- ア 消防設備点検 平成27年8月31日(月)、平成28年2月29日(月)
- イ 総合防災訓練 平成28年3月3日(木) 総合社会福祉会館敷地内

(2) 県施設整備

- ① プール壁面塗装工事 (12月～1月)
- ② 非常放送改修工事
- ③ プール濾過配管洗浄工事
- ④ 身障センター消火栓設備改修
- ⑤ プール水質管理用残留塩素計センサー取換修繕
- ⑥ 受付前廊下、プール、更衣室床シート張替
- ⑦ プールスロープ防滑シート張替
- ⑧ プール更衣室仕切りシート修繕
- ⑨ プール更衣室冷暖房機修理
- ⑩ プールシャワー室水洗機取替修繕

(3) 省力化の取り組み

- ① バコテンボイラーの制御タイマー設置
- ② 各部屋空調の温度管理
- ③ 冷暖房機のインバーター設置

12 広報の状況

(1) ホームページによる情報提供 URL <http://shinsyo.niko.to/index.html>

- ① 掲示板による最新情報（随時更新）
- ② 施設予約状況の案内

(2) 印刷物による広報

No.	内 容	枚 数	配布先
①	センター主催教室受講生募集	2, 0 0 0部	各関係機関、施設、受講生
②	教室受講生募集（点字版）	2 0部	視覚障がい者
③	利用案内（夏期間）4～10月	1, 2 0 0部	利用者用
④	利用案内（冬期間）11～3月	2 0 0部	利用者用
⑤	年報（平成26年度版）	2 5 0部	各関係機関、施設等
⑥	フェスタちらし	2 0, 0 0 0部	利用登録者、地域住民、各関係機関、施設等

(3) テレビCMによる広報

OCN 大分ケーブルネットワークにおいて1ヶ月間ふれあいフェスタの開催案内を放映。

13 関係機関との連携状況（NPO 団体等との連携による教室・大会の開催）

- (1) 親子水泳教室〔県障害者福祉水泳指導者協会〕
- (2) スポーツ吹矢教室〔大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部〕
- (3) 太極拳教室〔県武術太極拳協議会〕
- (4) パソコン教室（文書作成）〔NPO法人障害者大分UPプロジェクト〕
- (5) 水中リフレッシュ教室〔NPO法人にこにこフィットネス協会〕
- (6) 各種スポーツ大会
 - ① 卓球バレー大会〔大分県卓球バレー協会〕
 - ② 県社協会長杯卓球大会〔大分県障害者卓球連盟〕
 - ③ ふうせんバレーボール大会〔大分県ふうせんバレーボール協会〕
 - ④ サウンドテーブルテニス大会〔大分県障害者卓球連盟〕
 - ⑤ フライングディスク大会〔大分県フライングディスク協会〕
 - ⑥ スポーツ吹矢大会〔大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部〕

14 利用者満足度調査（アンケート調査の実施）

	調査時期	対象者（人数・団体数）
第1回	12月～1月	会議室等利用団体（登録73団体）
第2回	12月～1月	スポーツ施設使用団体（登録35団体）
第3回	通年	個人の利用者（一般を含む）
第4回	通年	教室受講者

15 「第5回大分県身体障害者福祉センターふれあいフェスタ」（サービス改善事業）

- (1) 目的 大分県身体障害者福祉センターを広く県民に対し周知を図るとともに障がい者と一般県民の交流、ふれあいを目的とする。
- (2) 主催 社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
- (3) 後援 大分合同新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞大分総局、毎日新聞社、西日本新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、OCT大分ケーブルテレコム、エフエム大分
- (4) 日時 平成27年11月15日（日）10:00～15:00
- (5) 会場 大分県総合社会福祉会館
- (6) 参加人数 1,885人
- (7) 参加料 無料
- (8) 参加者アンケート実施
28名より回答
- (9) 日程

① 体育室〔1階〕

- 10:00～14:00 「ふれあい市」
豊のしゃも鍋、とりめし、焼きたてパン、軽食、野菜、手作り工芸品、せっけん等の販売。
- 10:00～14:00 「福祉機器の展示」（有）大分タキ ほか
車いすをはじめとした介護用品の展示。
- 11:50～ 「花苗の無料配布」
すてきな花を先着500名の方へ
- 13:00～13:50 ブルースバンド 雅楽多（がらくた）演奏
持ち前のブルース演奏と持ちネタのふたり紅白歌合戦を披露。
- 13:30～14:00 「絵手紙ライブ」原野 彰子 さん
絵手紙教室の講師が絵手紙の楽しさを筆で伝えました。
- 14:00～14:30 「お楽しみ抽選会」
出展団体さんの自慢の品の他、商品券などが当たりました。

② 正面入口前

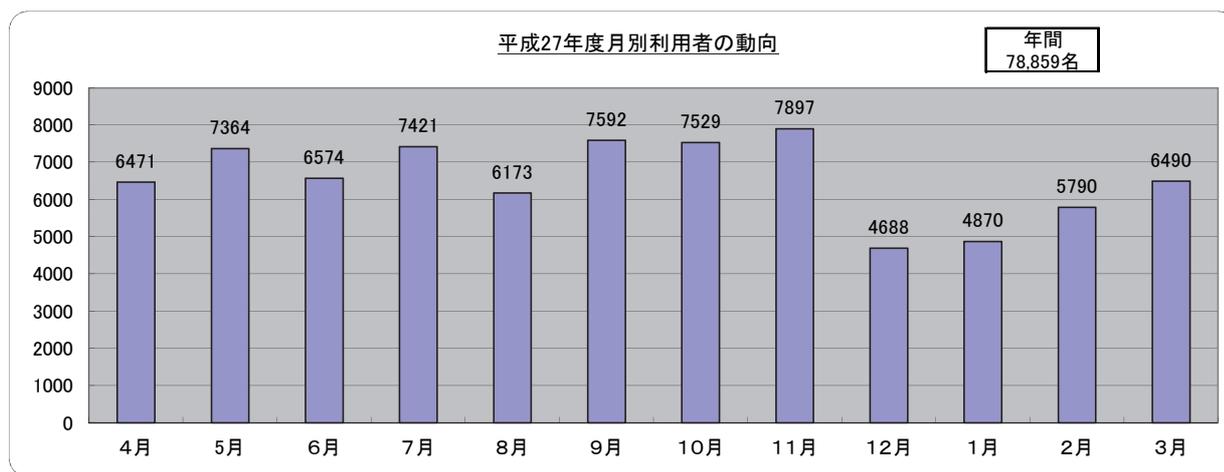
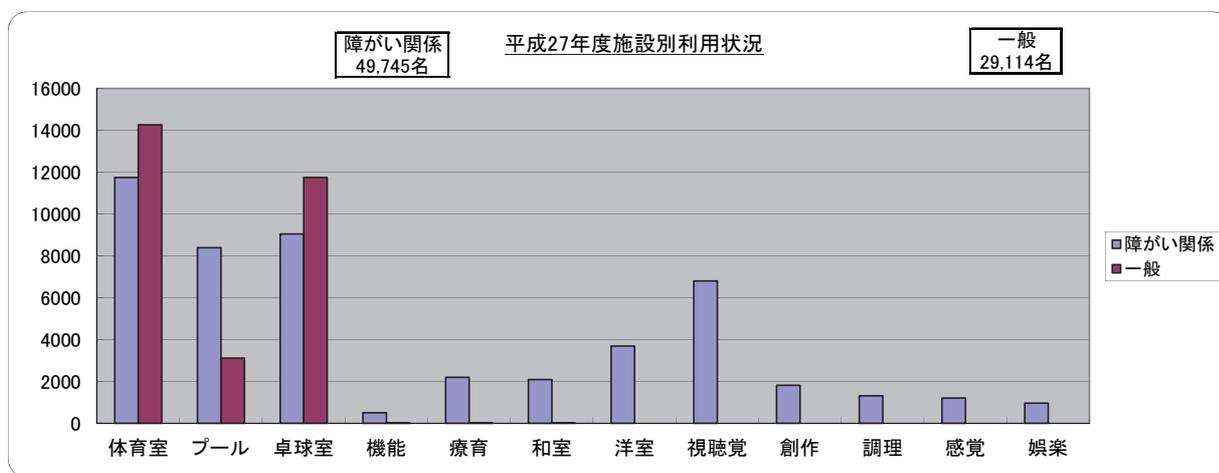
- 10:00～13:00 交通安全教育車「セーフティぶんど」 大分県警察本部
ドライビングシュミレータを通じて、交通安全の大切さを学びました。

- ③ 卓球室〔1階〕
10:00 ～ 12:00 「おりがみを楽しもう！」羽田 清子 さん（日本折り紙学会指導員）
脳トレや手先のリハビリにも効果のある「おりがみ」。
作品づくりを通しておりがみを折る楽しさを体験。
4回シリーズ ①10:00～ ②10:30～ ③11:00～ ④11:30～
- ④ 療育訓練室〔1階〕
10:00 ～ 12:00 「木で自由なオブジェづくり」&「バルーンの剣づくりと
チャンバラごっこ」 うーたの会 ほか
個性豊かなオブジェを木のパーツで作り、ふうせんの剣を作ってチャン
バラごっこをしました。
13:00 ～ 13:30 「スマホでわが家のエコ診断タイム」（ストップ・ザ・地球温暖化！）
うーたの会 ほか 光熱水費等を今後のどれだけ節約できるかを診断。
- ⑤ 生活訓練室（和・洋室）〔2階〕
10:00 ～ 14:00 「ふれあいお茶会」茶道クラブ
おいしいお茶とお菓子でおもてなしました。
- ⑥ 視聴覚室〔2階〕
10:00 ～ 14:00 「まちの保健室」 大分県看護協会
血管年齢、血圧、体脂肪測定を通し、健康状態を把握。
- ⑦ 創作作業室〔2階〕
10:00 ～ 14:00 「かんたんDIY！」 寺司 孝志 さん
木を使ったものづくりの楽しさを体験。
- ⑧ 1～2階掲示板
10:00 ～ 15:00 「夢物語作品展」 教室受講生の作品（絵画、書道、絵手紙）を展示。
- ⑨ 3階 母子研修室
10:00 ～ 12:00 「スポーツ吹矢体験」 日本スポーツ吹矢協会大分中央支部
健康増進につながる腹式呼吸を活用し、的をめがけて矢を放ちました。
- ⑩ 3階 研修室
10:30 ～ 11:30 「親子でスキンシップ」INTA ッタ♪
音スキンシップアーティスト オーノ ユキヨ さん
楽器を手づくりしてみんなで音楽隊になりきりました。
- ⑪ 4階大研修室
10:20 ～11:40 講 演「全盲社長の泣き笑い会社づくり～可能性を決めるのは君自身、
一歩進めばぐんと広がる～」
(株) アメディア 代表取締役 望月 優 氏
コンピュータとの出会いをきっかけに、1980年代から視覚障がい者の
読書・情報収集を支援する機器やソフトウェアの開発・販売を行ってきた
望月社長。「障がい」という壁に自らの技術力で立ち向かい続けてきた
信念と、国境を越えて活動を広げる未来への展望をお話いただきました。

平成27年度 施設別・障がい別利用状況表

(別紙1)

センター利用統計																
	団体利用					個人利用										合計
	障がい者	介護 同伴	ボラン ティア	福祉 関係者	その他 一般	肢体	視覚	聴、言	知的	内部	精神	介護 同伴	ボラン ティア	福祉関 係者	その他 一般	
体育室	6,791	1,005	1,630	2,317	14,263											26,006
温水プール	3,065	1,293	246	551	718	1,646	39	45	446	164	115	637	147	0	2,387	11,499
卓球室	410	118	114	135	0	5,928	0	726	180	513	906	6	3	0	11,739	20,778
機能回復訓練室	8	0	0	21	0	416	27	4	3	7	1	11	6	0	2	506
療育訓練室	1,160	276	611	145	1											2,193
生活訓練室(和)	717	388	653	335	4											2,097
生活訓練室(洋)	1,352	460	559	1,323	0											3,694
視聴覚室	1,554	482	986	3,773	0											6,795
創作作業室	728	231	284	569	0											1,812
調理実習室	869	129	200	119	0											1,317
感覚訓練室	342	257	465	139	0											1,203
娯楽室	460	195	39	265	0											959
合計	17,456	4,834	5,787	9,692	14,986	7,990	66	775	629	684	1,022	654	156	0	14,128	78,859



社会福祉介護研修センター

平成27年度は、第二期指定管理者（平成23～27年度）としての最終年を迎え、「2015大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、引き続き、福祉に関わる行政職員や施設職員等の資質の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に対する正しい知識の普及と介護技術の向上に努めた。

具体的には、社会福祉施設等の職員を対象に、階層・職種別に業務遂行に必要な知識・技術の修得のための研修をはじめ、認知症介護実践者研修や摂食・嚥下セミナー等ニーズの高い専門研修を行うとともに、障がい者の自立を支援する相談支援従事者の専門性を高める研修等を開催したほか、指定研修実施機関として介護支援専門員研修を実施した。

また、子ども・子育て支援新制度が本格的に施行されたことに伴い、放課後児童支援員の資格認定に係る専門研修を新たに実施した。

一般県民向けの講座では、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加に対応して、従来の介護予防教室の充実を図り、日常で実践できる認知症予防方法を体験し、理解を深める認知症予防教室を新たに実施するとともに、なかなか研修センターへ足を運ばない地域住民を対象にした地域介護教室を積極的に開催した。

さらには、高齢者が在宅で自立して生活できる限界点を引き上げるとともに、介護現場の就労環境を改善するため、平成25年度から公益財団法人テクノエイド協会から介護ロボットの普及拠点施設の指定を受け、福祉用具展示場に介護ロボットの体験型常設展示を行うとともに、福祉施設や在宅での実証検証に加え、福祉用具・介護ロボット普及研修フォーラムを開催するなど、介護ロボットの普及啓発を図った。

その他、センター施設を地域に開放し、大分県保健医療団体協議会と連携して、健康や介護予防に関する体験・相談コーナーを設けるとともに、福祉用具アイデア作品展や介護食コンテストを実施するなど県民参加型の「センターまつり」を開催した。

また、課題である福祉人材確保に関しては、福祉人材確保推進会議を開催し、関係者の課題の共有化、解決のための協議・情報交換を行うとともに、福祉のしごと就職フェアを各地で開催するなどの取組みを行った。さらに、介護の仕事に関心を有する者に職場を体験する機会を提供したり、ハローワーク等での相談に応じ、福祉・介護現場への参入促進を行った。

こうした取組みを踏まえ、県に対し次期指定管理の申請を行い、去る1月に第三期指定管理者として指定されたところである。

研 修 部

【介護実習・普及センター事業】

高齢化の急速な進行に加え単身世帯や核家族世帯が増加する中で、家庭及び地域にお

ける介護機能の強化と介護予防、認知症予防の意識普及を図るため、介護知識・技術の普及・啓発並びに福祉用具の研修・展示・相談の充実を図った。

(1) 介護研修関係

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
見学コース (一般)	一般県民・企業他	35	849
入門コース (一般)	一般県民・企業他	90	2,753
認知症予防教室(4日間)	一般県民	2	83
テーマ別研修	一般県民	11	306
介護予防教室(4日間)	一般県民	4	80
介護技術教室(4日間)	一般県民	4	115
認知症介護教室(2日間)	一般県民	6	223
地域介護教室	一般県民	26	594
公開介護教室	一般県民	5	1,120
福祉用具プランナー研修(8日間)	介護支援専門員、理学療法士等	1	31
福祉用具専門相談員指定講習会(7日間)	福祉用具専門相談員を目指す者	2	70
リフトリーダー養成研修(2日間)	介護担当職員	1	36
福祉用具等研修	介護支援専門員、福祉用具貸与事業者等	2	141
福祉用具・介護ロボット普及研修	福祉用具等貸与事業者等	1	89
介護技術講師養成研修(11日間)	特別養護老人ホーム・身体障害者支援施設等の介護福祉士、ホームヘルパー等	1	14
介護技術講師継続研修(1日間)	介護技術講師	1	63
啓発及び情報提供	一般県民		パンフレット・リーフレットの配布、図書・ビデオの貸し出し
合 計		192	6,567

(2) 介護担当職員技術研修

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
介護担当職員技術研修 ＜介護技術セミナー＞	直接介護に関わっている介護福祉士、訪問介護員等	2	77
＜認知症セミナー＞	認知症介護に関わっている介護福祉士、訪問介護員等	1	45
＜スキルアップセミナー＞	介護、福祉に関わっている介	2	191

(感染対策・医療的ケア)	護福祉士、訪問介護員等		
摂食・嚥下セミナー(7日間)	「食」に携わる医療、介護、福祉職等	1	40
(スキルアップセミナー)		1	20
排泄初級セミナー(5日間)	排泄ケアに関わっている者、または今後関わっていく者	1	30
(スキルアップセミナー)		1	22
合 計		9	425

(3) 訪問介護・通所介護事業所職員養成研修関係 (回、人)

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
介護保険事業所トップセミナー	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における開設者、管理者等	2	312
サービス計画担当者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(4日間)	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者	2	351
		2	151
介護職員現任者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(3日間)	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における現任の介護職員	3	81
		3	80
障がい者(児)居宅介護職員養成研修(2日間)	介護保険法に基づく訪問介護職員養成研修終了者で、現に従事している者、又はこれから従事する者	1	83
合 計		13	1,058

【社会福祉従事者等研修事業】

県市町村の福祉関係行政職員、社会福祉施設及び社会福祉協議会の役職員など、社会福祉従事者の資質向上のための研修を実施し、マンパワーの育成に努めた。

(1) 行政職員研修

研 修 名	対 象 者	日数	参加者
新任職員研修	着任後1年未満の職員	2日	62名
高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉担当職員	3日	122名
障がい福祉担当職員研修	障がい者福祉担当職員	1日	13名

(2) 社会福祉施設職員等研修

① 階層別研修

研 修 名		対 象 者	日 数	参 加 者
新任職員研修	(前期)	実務経験 1 年未満の職員	2 日	146 名
	(後期)		2 日	144 名
中堅職員研修 (1 部)		実務経験 3 年以上 5 年未満の職員	2 日	135 名
中堅職員研修 (2 部)		採用後 5 年以上の職員	2 日	138 名
指導監督職員研修		指導監督職員	2 日	106 名
施設長研修		施設長	1 日	73 名
理事 (長) 研修		法人の理事長及び理事	1 日	107 名

② 職種別研修

研 修 名		対 象 者	日 数	参 加 者
高齢者福祉施設相談職員研修		高齢者福祉施設の相談員	1 日	79 名
新任介護担当職員研修	講 義	新任介護担当職員	7 日	88 名
	実 技		4 日 3 班	84 名
介護職員中堅研修		介護担当職員 (3 ~ 5 年)	1 日	124 名
障がい児 (者) 施設等職員研修		直接処遇職員	1 日	64 名
事務担当職員研修		事務担当職員	2 日	120 名
給食担当職員研修		給食担当職員	1 日	96 名
看護担当職員研修		看護担当職員	1 日	119 名
介護支援専門員実務研修		受講試験合格者	7 日 3 組	348 名
介護支援専門員 専門 (更新) 研修	課程 I	6 か月以上	6 日 2 組	211 名
	課程 II (居宅)	3 年以上	3 日 3 組	315 名
	課程 II (施設)	3 年以上	3 日 2 組	143 名
介護支援専門員更新研修		介護支援専門員証の有効期間が 1 年以内に満了する者 (実務未経験者)	7 日 2 組	196 名
介護支援専門員再研修		介護支援専門員証を失効した者	7 日 3 組	106 名
相談支援従事者初任者研修		相談支援専門員となる者	5 日	239 名
相談支援従事者現任研修		相談支援専門員の現任者	3 日	54 名

③ 課題別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員	4日2班	273名
認知症介護実践者研修	介護保険施設等の実務者、グループホームの計画策定担当者就任予定者等	5日3班	305名
認知症介護実践リーダー研修	介護保険施設等の実務者	7日	74名
認知症対応型サービス事業開設者研修	開設者、代表者、役員	1日	10名
認知症対応型サービス事業管理者研修	管理者の就任予定者	2日2班	91名
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	計画作成担当者、就任予定者	2日2班	26名
福祉サービス実践力向上研修 〈救急対応(救急法)研修〉	介護保険事業所、社会福祉施設等の職員	1日5班	132名
〈介護支援専門員実践力向上研修〉	介護支援専門員	3日	182名
〈利用者本位サービス実戦力向上研修〉	高齢者福祉、障害福祉等	2日	79名
〈メンタルヘルス研修〉	社会福祉施設等職員及び社協職員	1日	72名

(3) 地域福祉活動従事者研修

① 社会福祉協議会職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
業務担当職員研修	福祉活動専門員等	1日	16名
事務担当職員研修	事務担当職員	1日	48名
理事(会長)研修	会長及び理事	1日	34名

福祉人材・総合相談部

【高齢者総合相談事業】

急速に進行する高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、また介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改修などの相談に応じた。また、情報の収集や提供をすることにより、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

(1) 相談事業

- ① 日常生活における心配ごと・悩みごとなどの一般相談
- ② 法律、年金、税金、医療・介護・機能回復、認知症介護、排泄ケア、住宅増改築の専門相談
- ③ 相談件数 6, 237件
 - 電話 2, 262件
 - 来所 3, 975件

(内訳)

(件、%)

	生活安全	法律	経済	福祉サービス	保健・医療	計
電話	1, 016	133	78	766	269	2, 262
来所	281	23	66	3, 461	144	3, 975
計	1, 297	156	144	4, 227	413	6, 237
割合	20.8%	2.5%	2.3%	67.8%	6.6%	100.0%

(相談件数の推移)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
3,241件	3,198件	3,105件	4,565件	5,345件	6,237件

(2) 福祉情報の収集・提供

- ① 大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用者情報を掲載
- ② 広報紙「大分県社会福祉介護研修センターだより」や、新聞広告による情報提供
- ③ 相談業務担当職員に対する研修の実施 2回 221名

(3) 啓発事業

- ① 生活・介護用品アイデア作品展

福祉専門校、福祉施設や一般から募集した介護用品について、独自の工夫等により介護者の負担の軽減を図ったアイデア作品を展示した。

出品数 41点

(4) 福祉用具等の相談内容

(件、%)

項目	件数	率	項目	件数	率
移動	647	20.8	自助具	157	5.0
入浴	554	17.8	コミュニケーション	356	11.5
排泄	236	7.6	ユニバーサルデザイン	55	1.8
移乗	183	5.9	住宅改修等	158	5.1
ベッド、床ずれ	209	6.7	介護一般相談	116	3.7

被服	147	4.7	認知症介護相談	292	9.4
合 計				3,110	100.0

(5) 障がい者への専門相談の実施

障がい者やその家族から「障害者110番」(大分県障害者社会参加推進センターが実施している障害者の相談窓口)に相談のあった中で、障がい者の人権や財産侵害、年金、労災などの相談に対して弁護士による専門相談を行った。

相談件数：2件

【福祉人材センター事業】

福祉関係の求人・求職の紹介斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査や青少年の福祉の心醸成事業などを実施して、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

① 情報提供：求人情報一覧の配布(毎月)

求人情報ファックスサービス

求人票の掲示(福祉人材センター内)

「福祉のお仕事」での求人情報の掲載(インターネット)

介護研修センターホームページへの求人・求職者情報の掲載

②月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談(件)	425	467	479	466	359	429	456	355	404	448	389	340	5,017
求職(人)	130	102	121	72	96	96	73	116	70	90	120	94	1,180
求人(件)	117	79	128	248	160	151	183	114	170	285	170	148	1,953
求職者 と求人の 差(人)	201	132	228	510	269	242	361	226	296	520	366	281	3,632
紹介(人)	28	12	24	8	18	37	15	26	32	30	65	69	364
就職(人)	44	7	7	14	6	22	8	13	22	29	51	62	285

(2) 福祉職場への就職説明会の実施

① 2015年夏 福祉のしごと就職フェアの開催

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：平成27年8月9日(日)

参加者：511名(学生200名、一般求職者135名、職安等12名
事業所164名)

内 容：合同面談会（参加事業所 88）

情報コーナー

相談コーナー（福祉の仕事・資格取得方法など）

就職決定者数：63名

② 2016年春 大分・別府地域 福祉のしごと就職フェアの開催

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：平成28年2月13日（土）

参加者：228名（学生9名、一般求職者108名、職安等5名
事業所106名）

内 容：合同面談会（参加事業所 62）

相談コーナー（福祉の仕事・資格取得方法など）

就職決定者数：19名

③ 保育のしごと就職フェア〔第1回〕

会場：大分県社会福祉介護研修センター

期日：平成27年6月28日（日）

参加者：114名（学生24名、一般求職者35名、事業所55）

内容：合同面談会（参加事業所：26事業所）

④ 保育のしごと就職フェア〔第2回〕

会場：大分県社会福祉介護研修センター

期日：平成28年2月13日（土）

参加者：95名（学生10名、一般求職者43名、事業所42名）

内容：合同面談会（参加事業所：20事業所）

(3) 福祉人材確保推進事業の実施

① 大分県福祉人材確保推進会議の開催

福祉、特に介護労働の人材確保を図るため、課題の共有化、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催した。

期 日：平成28年1月29日（金）

内 容：平成27年度の取り組み状況等について

委 員：県（地域福祉推進室、高齢者福祉課、障害福祉課、雇用・人材育成課）、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、老人保健施設協会、介護福祉士会、智泉福祉製菓専門学校、別府大学短期大学部、県立大分南高校の各代表者

② 調査・研究事業の実施

ア 福祉の職場への就労を目指す求職者の意識や労働条件等を調査し、職業紹介

に活かすことにより、今後の人材確保に資するため、「紹介就職者の就労状況に関するアンケート調査」を実施した。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「社会福祉施設ガイドブック」（平成27年度版）を作成した。

【福祉・介護人材確保対策事業】

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、小規模な事業所が共同して合同研修を行うことができるような事業所連携の支援事業や、福祉に関心を有する者に対して職場を体験する機会を提供し、福祉職場への参入を促した。

また、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

(1) 複数事業所連携研修事業

複数の小規模事業所がネットワークを形成（1ユニット 5事業所以上）し、共同で合同研修等を行うことによりキャリアアップ開発等を支援し、福祉・介護人材の確保・育成を図った。

① 支援した施設・事業所

・OST 連絡会

代表事業所 大分市 つかがわ (計 14 事業所)

・未来はばたきネット

代表事業所 別府市 別府発達医療センターひばり園 (計 13 事業所)

・なかつデイサービス連絡会

代表事業所 中津市 燦燦館東なかつ (計 9 事業所)

・SGK ネット

代表事業所 佐伯市 グループホーム「ひだまり」 (計 10 事業所)

(2) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心を有する者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

実施期間：6月1日から2月29日まで（うち原則3日間）

受入施設： 93施設

体験者数： 197人 延べ400日

就職決定者数： 44人

(3) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターに福祉人材確保推進員3名を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を実施した。

また、人材確保に係る専門的アドバイザーとして社会保険労務士を委嘱し、事業

所における労務管理等の諸問題についてアドバイスを行った。

① ハローワーク等における出張相談

ハローワーク大分を除く6か所のハローワーク及び大分市内（ホルトホール）で、月2回（別府・日田は毎週）「福祉のしごと出張相談」を実施した。

ハローワーク等出張相談実績 (人)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
相談者総数	31	35	22	19	20	20	25	23	21	14	22	14	266
ハローワーク別													
別府	13	13	10	9	7	7	12	7	5	6	7	4	100
日田	2	1	2	0	1	0	1	1	1	0	1	1	11
宇佐	1	1	0	0	0	0	2	2	1	0	2	0	9
中津	1	1	0	2	2	1	1	2	2	1	2	2	17
佐伯	6	9	5	4	3	3	5	9	4	3	2	3	56
豊後大野	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	8
ホルトホール大分	8	7	5	4	6	9	4	2	8	2	7	3	65
性別													
男性	20	9	9	8	6	6	10	10	10	9	8	3	108
女性	11	26	13	11	14	14	15	13	11	5	14	11	158
福祉関係資格													
無資格者	13	17	11	14	11	6	13	10	8	3	6	6	118
有資格者	16	16	8	5	8	11	7	12	11	9	14	8	125
年齢													
10代	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4
20代	4	2	3	1	1	1	2	1	2	0	3	2	22
30代	9	11	6	1	8	5	3	5	7	5	5	1	66
40代	11	10	4	8	6	8	11	7	5	5	6	6	87
50代	4	8	6	5	2	3	7	9	4	4	5	4	61
60代	2	1	2	3	3	0	1	1	2	0	3	1	19

（「福祉関係資格」及び「年齢」には、不明の者は含まない。）

相談内容については「求人を知りたい」が172件(36.4%)、「福祉の仕事について知りたい」が99件(20.9%)、「資格の取得方法を知りたい」が94件(19.9%)、「職場体験事業について」が59件(12.5%)、「その他」が49件(10.3%)であった。

※出張相談による就職決定者数 6名

② その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

名称	期日	会場	相談者数
出張相談	4月8日	(株)TSK大分校	23名

出張登録	4月10日	(株)TSK大分校	15名
出張相談	4月23日	白杵市ふるさとハローワーク	1名
出張相談	5月28日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
進路ガイダンス	6月17日	大分国際情報高校	7名
出張相談	6月23日	ヒューマンアスクール大分	16名
出張相談	6月26日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
元気おおいた就職ガイダンス	6月27日	ビーコンプラザ	23名
出張相談	7月2日	天心堂	5名
出張相談	7月22日	いずみの園	20名
出張相談	7月23日	白杵市ふるさとハローワーク	1名
出張相談	7月29日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	38名
合同企業就職相談会	8月15日	竹田市総合社会福祉センター	1名
企業合同就職説明会	8月18日	アストくにさき アグリホール	0名
出張相談	8月27日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
職員研修講師派遣	8月27日	偕生園	25名
出張相談	8月31日	特別養護老人ホーム日田園	18名
研修講師派遣	9月1日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	38名
出張登録	9月4日	河野文化学園	9名
出張相談	9月24日	白杵市ふるさとハローワーク	2名
出張相談	10月22日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
出張相談	10月23日	ヘルパーステーション虹の家	10名
出張相談	10月25日	くすまちメルサンホール	3名
出張相談	10月30日	佐伯市総合体育館 (さわやか佐伯)	10名
出張相談	11月26日	白杵市ふるさとハローワーク	1名
出張相談	12月24日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
出張登録	1月20日	(株)TSK大分校	10名
出張相談	1月28日	白杵市ふるさとハローワーク	2名
出張相談	2月25日	白杵市ふるさとハローワーク	0名
合同企業就職相談会	2月27日	竹田市総合社会福祉センター	2名
出張登録	3月1日	河野文化学園	6名
企業合同就職説明会	3月19日	アストくにさき・アグリホール	2名
出張相談	3月24日	白杵市ふるさとハローワーク	2名
計(33回)			290名

※ その他福祉人材確保推進員による就職決定者数 2名

③ 就職フェア等の開催

ア 豊肥地区福祉のしごと就職フェア

会場：ホテル豊洋

期日：平成27年10月 3日（土）
参加者：11名
内容：就職面接会（参加事業所：13事業所）

イ 速見・杵築・国東地域福祉のしごと就職フェア
会場：日出町保健福祉センター
期日：平成27年10月17日（土）
参加者：33名
内容：就職面接会（参加事業所：16事業所）

ウ 県南地区福祉のしごと就職フェア
会場：佐伯保健福祉総合センター和楽
期日：平成26年11月 7日（土）
参加者：38名
内容：就職面接会（参加事業所：16事業所）

エ 介護就職デイ 2015年秋 福祉の就職フェア
会場：トキハ会館
期日：平成27年11月11日（水）
参加者：135名
内容：セミナー・就職面接会（参加事業所：63事業所）

オ 県北地区福祉のしごと就職フェア
会場：中津市教育福祉センター
期日：平成27年11月21日（土）
参加者：34名
内容：就職面接会（参加事業所：16事業所）

※ 就職フェアによる就職決定者数 合計62名

④ 事業所訪問

円滑な人材確保・定着や働きやすい職場づくりを支援するため、福祉人材確保推進員が県内の事業所を訪問し、人材確保や職員教育などについての指導、助言を行った。また、人事管理、各種助成金等についての専門的アドバイザーとして委嘱した社会保険労務士による「無料アドバイザー派遣」の利用を紹介した。

⑤ アドバイザーの派遣

働きやすい職場づくりを推進するため、就業規則の見直しや各種助成金の活用等についてアドバイザーを派遣し、事業所の労務管理の改善支援を行った。

※ 派遣回数 11回

【日田市福祉人材バンク事業】

(1) 福祉人材バンク事業

求職登録者へ求人情報一覧の配布（3ヶ月に一回）

日田市社会福祉協議会のホームページに求人情報一覧を掲載（9回）

求人確保のための施設訪問実施 42回

月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談(件)	8	8	2	8	4	1	2	3	7	6	12	5	66
求職(人)	0	11	1	3	0	0	0	0	4	0	2	2	23
求人(件)	0	6	26	6	0	0	50	2	4	26	54	3	177
求人(人)	0	9	45	7	0	0	69	2	6	42	80	5	265
紹介(人)	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	9
就職(人)	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	1	7

(2) 説明会・講習会等の実施

① 介護職場就職支援講習会の実施

会 場：特別養護老人ホーム「日田園」

期 日：平成27年9月9日（水）13：00～14：30

参加者：3名（一般福祉職場希望者）

内 容：求人動向等説明

施設見学

② 介護就職デイ 2015福祉の就職フェアの開催

会 場：マリエールオークパイン日田

期 日：平成27年11月14日（土）13：30～16：00

参加者：14名（学生・一般福祉職場希望者）

内 容：合同面接会（参加事業所21事業所）

相談コーナー

就職決定者数 1名

③ 福祉人材確保相談事業の実施

- 巡回相談 市民健康福祉まつりに参加（年1回）
開催日 平成27年10月11日（日）
相談コーナー設置（相談来所者1名）
- 出張相談 われら現役大会（玖珠町）
開催日 平成27年10月25日（日）
相談コーナー設置（相談来所者3名）

④ 啓発、広報事業の実施

- ・機関誌の発行 「日田市社協だより」と共同発行（3回）
27, 150部を作成し、市内全戸に配布
- ・ボールペン配布（日田市福祉人材バンク名前入り）
関係機関、求人施設、求職者に配布
- ・福祉の就職フェアの広報：チラシ作成
（16, 000枚、新聞折込、関係機関配布）
ケーブルテレビ、新聞2社
- ・介護職場就職支援講習会の広報：ケーブルテレビ、新聞2社

総 務 部

【福祉・介護人材確保対策事業】

（1）再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者等を対象に介護技術や認知症の介護の研修を実施することを通して、就職支援を図った。

期 日：平成28年2月2日、4日、9日、17日の4日間

内 容：介護現場のリーダーから、介護サービスの基本視点・介護技術・認知症のケア・認知症の理解について講義

参加者：6名（延17名）

（2）子どものための福祉講座（青少年福祉の心醸成事業）

県内の小・中・高校生を対象に車いす、アイマスク体験等福祉の入門講座を開催し、福祉を体験する機会を提供することにより福祉に対する理解と関心を深め「福祉の心」の一層の醸成を図ることを目的に実施した。

ア 介護研修センター実施分

実施主体：大分県社会福祉介護研修センター

実施回数： 25回

参加延人数： 1,638名

	ジュニア基礎コース		親子ふれあい スクール
	半日コース	1日コース	
対象者	小・中・高校生	小・中・高校生	小学生・保護者
実施場所	大分県社会福祉介護研修センター、学校		
実施回数	小学生 17回 中学生 2回 高校生 0回 計 19回	小学生 3回 中学生 1回 高校生 0回 計 4回	2回
受講者数	小学生 1,042名 中学生 54名 高校生 0名 計 1,096名	小学生 335名 中学生 0名 高校生 0名 計 335名	207名

イ 地域実施分

実施主体：市町村社会福祉協議会

実施回数： 38回

参加延人数： 2,361名

	福祉巡回教室	親子ふれあい入門教室
対象者	小・中・高校生	小学生・保護者等
実施場所	5地域（市町村社協）	
実施回数	小学生31回 中学生4回 高校生0回 計35回	計3回
受講者数	小学生1,804名 中学生338名 高校生0名 計2,142名	計219名

(実施内容)

区分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	6月18日	三佐小学校 (大分市社会福祉協議会)	53名 (小学生)	高齢者疑似体験
	6月23日	長浜小学校 (大分市社会福祉協議会)	32名 (小学生)	講話・盲導犬・車いす体験
	6月28日	明治小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	49名 (小学生)	アイマスク体験
	7月4日	松浦小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	120名 (小学生)	車いす体験・アイマスク体験
	7月6日	野津原東部小学校 (大分市社会福祉協議会)	33名 (小学生)	講話・盲導犬・手話体験

福祉巡回教室	7月8日	戸次小学校 (大分市社会福祉協議会)	53名 (小学生)	講話・盲導犬・手話体験
	7月10日	北杵築小学校 (杵築市社会福祉協議会)	35名 (小学生)	講話・高齢者疑似体験
	7月30日 ・31日	姫島中学校 (姫島村社会福祉協議会)	9名 (中学生)	デイサービス実習
	8月4日	佐伯児童館 (佐伯市社会福祉協議会)	26名 (小学生)	アイマスク体験
	8月6日	夏休み公民館学校 (杵築市社会福祉協議会)	70名 (小学生)	盲導犬・アイマスク体験
	9月3日	南大分小学校 (大分市社会福祉協議会)	135名 (小学生)	講話・車いす体験
	9月4日	青山小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	42名 (小学生)	講話・車いす体験
	9月10日	王子中学校 (大分市社会福祉協議会)	176名 (中学校)	講話・車いす体験・ 車いすバスケット
	9月15日	野津原中学校 (大分市社会福祉協議会)	61名 (中学校)	講話・車いすバスケット
	9月29日	賀来小中学校 (大分市社会福祉協議会)	104名 (小学生)	講話・アイマスク体験
	10月8日	森岡小学校 (大分市社会福祉協議会)	39名 (小学生)	盲導犬・車いす体験
	10月15日	寒田小学校 (大分市社会福祉協議会)	103名 (小学生)	講話・盲導犬・アイマスク 体験
	10月16日	上野小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	31名 (小学生)	アイマスク体験
	10月16日	鴛野小学校 (大分市社会福祉協議会)	43名 (小学生)	講話・盲導犬・アイマスク 体験
	10月16日	横瀬小学校 (大分市社会福祉協議会)	52名 (小学生)	車いす体験・高齢者疑似 体験
	10月17日	とまちっ子クラブ (佐伯市社会福祉協議会)	62名 (小学生)	高齢者疑似体験・福祉絵 本読み聞かせ
	10月19日	植田小学校 (大分市社会福祉協議会)	76名 (小学生)	アイマスク体験
	10月23日	住吉小学校 (大分市社会福祉協議会)	32名 (小学生)	講話・盲導犬
	10月27日	丹生小学校 (大分市社会福祉協議会)	46名 (小学生)	卓球バレー・手話体験
	10月28日	桃園小学校 (大分市社会福祉協議会)	74名 (小学生)	講話・盲導犬・アイマスク 体験

	10月29日	こうざき小学校 (大分市社会福祉協議会)	19名 (小学生)	講話・盲導犬
	11月6日	豊府小学校 (大分市社会福祉協議会)	154名 (小学生)	講話・盲導犬・車いす体験
	11月12日	高田小学校 (大分市社会福祉協議会)	72名 (小学生)	アイマスク体験・車いす体験
	11月25日	上堅田小学校6年生 (佐伯市社会福祉協議会)	46名 (小学生)	車いす体験・アイマスク体験
	11月26日	上堅田小学校3年生 (佐伯市社会福祉協議会)	49名 (小学生)	車いす体験・盲導犬
	12月2日	下堅田小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	46名 (小学生)	車いす体験
	12月3日	佐伯南中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	92名 (中学生)	アイマスク体験・車いす体験・高齢者疑似体験
	1月26日	佐伯市直川小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	18名 (小学生)	盲導犬
	2月23日	佐伯市木立小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	8名 (小学生)	高齢者疑似体験
	3月8日	佐伯市鶴岡小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	82名 (小学生)	講話・手話体験
親子ふれあい 入門教室	8月～3月	津久見市社会福祉協議会 (堅徳小学校他)	177名 (小学生)	アイマスク体験・車いす体験・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座
	8月5日	杵築市社会福祉協議会 (杵築市内の小中学生)	21名 (小学生)	障害模擬体験
	2月20日	姫島村青少年健全育成村民会議 (姫島村社会福祉協議会)	21名 (小学生)	アイマスク体験・車いす体験・高齢者疑似体験・講話

(3) 人材確保特別推進事業の実施

① 社会福祉施設新任職員研修及び介護担当職員初任者研修の開催

ア 社会福祉施設新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに、自己啓発を図ることを目的として実施した。

期 日：平成27年4月15日～7月1日 計4日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：146名

内 容：講義・演習

イ 社会福祉施設新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の均質化を図るとともに、サービスの全体の質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日：平成27年4月23日～9月30日 計11日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者： 88名

内 容：講義・演習・実技講習

② 資格取得試験準備講習会の開催

ア 社会福祉士受験準備講習会

平成27年度（第28回）社会福祉士国家試験の受験対策に資するため、社会福祉士会と協力し受験対策講座を実施した。

期 日：平成27年9月19日～10月31日 計11日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：53名 模試 66名

内 容：講義 19科目、模擬試験

イ 介護福祉士受験準備講習会（講義6日・実技1日×3回）

平成27年度（第28回）介護福祉士国家試験の受験対策に資するため、介護福祉士会と協力し受験準備講習会を実施した。

期 日：講義 平成27年7月22日～8月26日 計6日間

実技 平成28年2月6日、7日、16日

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：講義 44名 実技 78名

内 容：講義 12科目

実技 実技試験の予備演習

ウ 介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講習会

平成27年度介護支援専門員実務研修受講試験の受験対策に資するため、受験準備講習会を実施した。

期 日：受験準備講習会 平成27年7月18日（土）、19日（日）、
8月2日（日）

直前セミナー 平成27年8月16日（土）

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：受験準備講習会[介護支援分野] 53名

[保健医療サービス分野] 50名

[福祉サービス分野] 49名

直前セミナー 48名

内 容：受験準備講習会 5科目

【福利厚生センター事業】

福祉人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生を充実することを目的に、平成6年度に設置された福利厚生センター事業について、施設職員の福利厚生センターへの加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業などを実施した。

1 福利厚生センター事業の実施

(1) 会員の加入促進

- ① 加入勧奨事業
 - ・福祉施設への戸別訪問
- ② 広報活動
 - ・研修センターだよりに案内記事を掲載
- ③ 平成27年度の加入状況
 - 77法人 179事業所 3,782名

(2) 会員の健康管理

生活習慣病予防検診費用助成 1,544名

(3) 会員の慶事のお祝い

- ① 永年勤続記念品贈呈 421名
- ② 出産お祝品贈呈 94名
- ③ 資格取得記念品贈呈 112名
- ④ 結婚お祝品贈呈 74名
- ⑤ 入学お祝品贈呈 198名

(4) 会員のリフレッシュ

クラブサークル活動助成 1,688名

2 会員交流事業等の実施

(1) レジャー施設等利用補助券（1,000円相当）の発券

発券枚数：2,400枚

利用実績：1,410枚

指定施設：九州自然動物公園アフリカンサファリ、スギノイパレス、ラクテンチ豊の国健康ランド、城島高原パーク、ハーモニーランド、うみたまご、くじゅう花公園

(2) 県内会員交流事業等（30事業）参加

行事名	開催日	内 容	募 集	申 込	参 加
コンサート	5月5日	May'J コンサート	30枚	80枚	30枚
	6月9日	島津亜矢コンサート	10枚	13枚	13枚
	6月12日	槇原敬之コンサート	30枚	212枚	30枚

	7月5日	平原綾香コンサート	20枚	37枚	22枚
	7月25日	NUMBER SHOT 2015	30枚	121枚	30枚
	8月7日	氷川きよしコンサート	40枚	115枚	50枚
	8月8日	BONE TO RUN!	30枚	152枚	30枚
	8月16日	ソナーポケットコンサート	20枚	79枚	20枚
	8月20日	郷ひろみコンサート	40枚	66枚	40枚
	8月28日	ベンチャーズコンサート	20枚	29枚	21枚
	11月4日	クリス・ハートコンサート	30枚	151枚	30枚
	11月10日	北島三郎コンサート	30枚	95枚	30枚
	11月14日	さだまさしコンサート	30枚	102枚	30枚
	2月11日	Every Little Thing コンサート	30枚	181枚	30枚
	3月9日	川中美幸コンサート	10枚	45枚	45枚
	3月26日	氣志團コンサート	20名	33枚	33枚
観劇・ エンターテイ メント	5月29日	TAO 大分公演	30枚	112枚	30枚
	6月14日	が〜まるちょぼ大分公演	20枚	36枚	20枚
	8月29日	ディズニー・オン・アイス	40枚	67枚	40枚
	9月30日	クレイジー・フォー・ユー	30枚	30枚	30枚
	10月6日	綾小路きみまろ	40枚	100枚	40枚
	11月15日	アンパンマンミュージカル	40枚	198枚	80枚
スポーツ	8月15日	ソフバソク vs 埼玉西武戦	50枚	94枚	50枚
	8月～9月	OBSボウル&木の花ガールズ特別チケット	50枚	173枚	50枚
グルメ	10月～11月	東九州伊勢えび海道 2015 お食事券	100枚	674枚	200枚
	4月～6月	インプラントホテル大分 ランチビュッフェ券	200枚	835枚	200枚
	4月～6月	杉乃井ホテル「シーダ・パレス」ご利用券	100枚	930枚	190枚
	4月～6月	大分アリスターホテル ランチ利用券	100枚	419枚	210枚
旅行	1月23日	日帰り☆臼杵・ふぐ料理堪能ツアー	30名	28名	中止
	2月20日	日帰り☆宮崎パワースポットツアー	26名	26名	26名
合 計				5,233枚	1,650枚

平成27年度大分県福祉サービス運営適正化委員会事業報告

大分県福祉サービス運営適正化委員会は、運営監視合議体と苦情解決合議体の2つの委員会により、日常生活自立支援事業の監視を通じ、同事業の適正な推進と利用者等からの苦情の適正な解決を図ることに努めた。

1 福祉サービス利用援助事業の監視

大分県社会福祉協議会から契約締結審査会や市町村社会福祉協議会の現物調査等日常生活自立支援事業の実施状況について報告を受け、本事業全般の監視を行った。

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、福祉サービス利用援助事業実施状況についての報告を受け、事業内容や個別ケースについて必要に応じて助言した。

開催年月日	議 題
平成27年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業実施状況報告 日常生活自立支援事業に係わる現物調査報告 平成26年4月～27年3月に実施した現物調査報告

(2) 福祉サービス利用援助事業に係る現物調査

日常生活自立支援事業担当者とともに福祉サービス利用援助事業を行う社会福祉協議会を訪問し、現地にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス等関係書類の確認を行った。また、今年度は前回調査時における指摘事項の進捗状況の確認ならびに前年度中に契約した契約者から5名、解約した契約者から5名を無作為抽出し確認を行った。

(全調査者数：149件)

対象期間	対象社協名	調査日	調査件数	前回指摘件数	改善件数
平成27年 4月～ 平成28年 3月	大分市社協	1月15日	10 (契約者5、解約者5)	21	12
	別府市社協	1月26日	10 (契約者5、解約者5)	0	
	杵築市社協	1月27日	7 (契約者4、解約者3)	1	1
	津久見市社協	1月28日	6 (契約者5、解約者1)	0	
	臼杵市社協	2月8日	10 (契約者5、解約者5)	3	3
	国東市社協	2月9日	10 (契約者5、解約者5)	1	0
	豊後大野市社協	2月10日	10 (契約者5、解約者5)	1	1
	由布市社協	2月12日	8 (契約者4、解約者4)	0	
	日出町社協	2月15日	7 (契約者5、解約者2)	1	1
	佐伯市社協	2月18日	10 (契約者5、解約者5)	3	1
	宇佐市社協	2月19日	10 (契約者5、解約者5)	9	1
	豊後高田市社協	2月23日	10 (契約者5、解約者5)	3	2

	姫島村社協	2月25日	0	0	
	中津市社協	3月1日	10（契約者5、解約者5）	5	3
	竹田市社協	3月3日	10（契約者5、解約者5）	11	8
	九重町社協	3月8日	8（契約者4、解約者4）	1	1
	玖珠町社協	3月10日	4（契約者3、解約者1）	0	
	日田市社協	3月15日	9（契約者5、解約者4）	12	10

2 福祉サービスに関する苦情の解決

福祉サービス利用者本人や家族などからの苦情や相談に対し、助言や関係機関につなぐなどの対応をした。また、福祉サービス提供事業所における苦情解決体制整備を促進するため、事業所を対象とする研修会を開催するとともに、直接事業所を訪問し体制整備の促進を図った。

(1) 苦情解決合議体の開催

審議案件無しのため、開催無し。

(2) 福祉サービスに関する苦情解決セミナーの開催

事業所段階での苦情解決が円滑に図られるように、社会福祉施設の苦情解決責任者や苦情受付担当者及び第三者委員を対象としたセミナーを開催し、苦情を福祉サービスの質の向上へどうつなげるのか等について研修し、以て現場における良質なサービス提供のための体制整備を促した。

開催年月日	内 容
平成28年1月27日 参加者：204名	時間：10:00～16:00 講義：「福祉サービス苦情解決セミナー」 開催日：平成25年9月5日 参加者：204名 講義：「苦情を組織としてどう捉え、いかにサービス向上につなげるか」 講師：アイベック・ビジネス教育研究所 常任講師 鈴鹿 絹代 氏

(3) 会議・研修への参加

開催年月日	会議および研修会名	会 場
平成27年9月11日	平成27年度九州ブロック運営適正化委員会事務局担当者会議	福岡市

(4) 福祉サービス提供事業者等に対する巡回指導

施設からの相談等により、事業所を訪問し体制整備の促進を図るとともに適正な運営の支

援を行った。

実施期間	種 別	件 数
平成27年4月 ～平成28年3月	特別養護老人ホーム	6
	その他高齢者施設	4
	身体障害者施設	1
	障害児施設	1
	児童養護施設	6
	乳児院	1
	母子生活支援施設	2
	計	21

(5) 広報・啓発等

各種研修等において制度の説明を行うとともにパンフレット及びポスターを配付し、広く制度の周知を図った。

作成・配付物	主な配付先
パンフレット	大分県介護研修センター介護教室、介護支援専門員実務研修、地域包括支援センター研修会、民生委員児童委員研修会、権利擁護・成年後見セミナー等
ポスター	社会福祉施設、社会福祉協議会等
ホームページ	一般県民等

3 苦情等の受付及び対応等

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1) 受付件数(月別、受付方法別)

●受付方法は電話が最も多い。年間を通して、月平均1, 2件の苦情件数となっている。

※「一般」には、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数を記入。

	受 付 方 法						計		備 考
	来 所		電 話		書 面				
	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	
H27年 4月									
5月			1				1		
6月			1				1		
7月			1		1		2		
8月									
9月			2				2		
10月			1				1		
11月			2				2		
12月			3				3		
H28年 1月				1				1	
2月			1				1	1	
3月			2				2		
合計			14	1	1		15	2	

(2) 平成27年度種別・申出人の属性

- 申出人のその他は友人・知人である。
- 高齢者分野・障がい分野から苦情や相談が多い。申出人は利用者本人と家族の割合が多い。
- その他分野の苦情には、病院、社協や生活保護に関するものが含まれる。
- 一般相談は、制度に関する質問などがある。

申出人 分野	利用者(本人)		家族		代理人		職員		その他		合 計		備 考
	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	その他	
高齢者			8						1		9		
障がい	4								2		6		
児 童													
その他													
合 計	4		8						3		15		

(3) 種別並びに苦情内容の区分

- 苦情の内容としては、①サービス内容（職員の接遇）に関する内容が多かった。
- 被害・損害の内容としては、怪我による争いのものがあった。
- あっせんや通知に至るまでの苦情解決対応は無かった。

苦情の相手先	区 分	受 付	苦 情 苦情解決の結果						一 般 相 談
			①	②	③	④	⑤	⑥	
			相 談 助 言	紹 介 伝 達	あ っ せ ん	通 知	そ の 他	継 続 中	
合 計	①サービス内容（職員の接遇）	2	2	0	0	0	0	0	
	②サービス内容（サービスの質や量）	2	2	0	0	0	0	0	
	③利用料	0	0	0	0	0	0	0	
	④説明・情報提供の不足	4	4	0	0	0	0	0	
	⑤被害・損害	4	4	0	0	0	0	0	
	⑥権利侵害	2	2	0	0	0	0	0	
	⑦その他	1	0	0	0	0	0	0	1
	合 計	15	14	0	0	0	0	0	1

(内訳)

高 齢 者	①サービス内容（職員の接遇）	0							
	②サービス内容（サービスの質や量）	1	1						
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	3	3						
	⑤被害・損害	3	3						
	⑥権利侵害	2	2						
	⑦その他	0							
障 が い	①サービス内容（職員の接遇）	2	2						
	②サービス内容（サービスの質や量）	1	1						
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	1	1						
	⑤被害・損害	1	1						
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	1							1
児 童	①サービス内容（職員の接遇）	0							
	②サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	0							
そ の 他	①サービス内容（職員の接遇）	0							
	②サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	0							

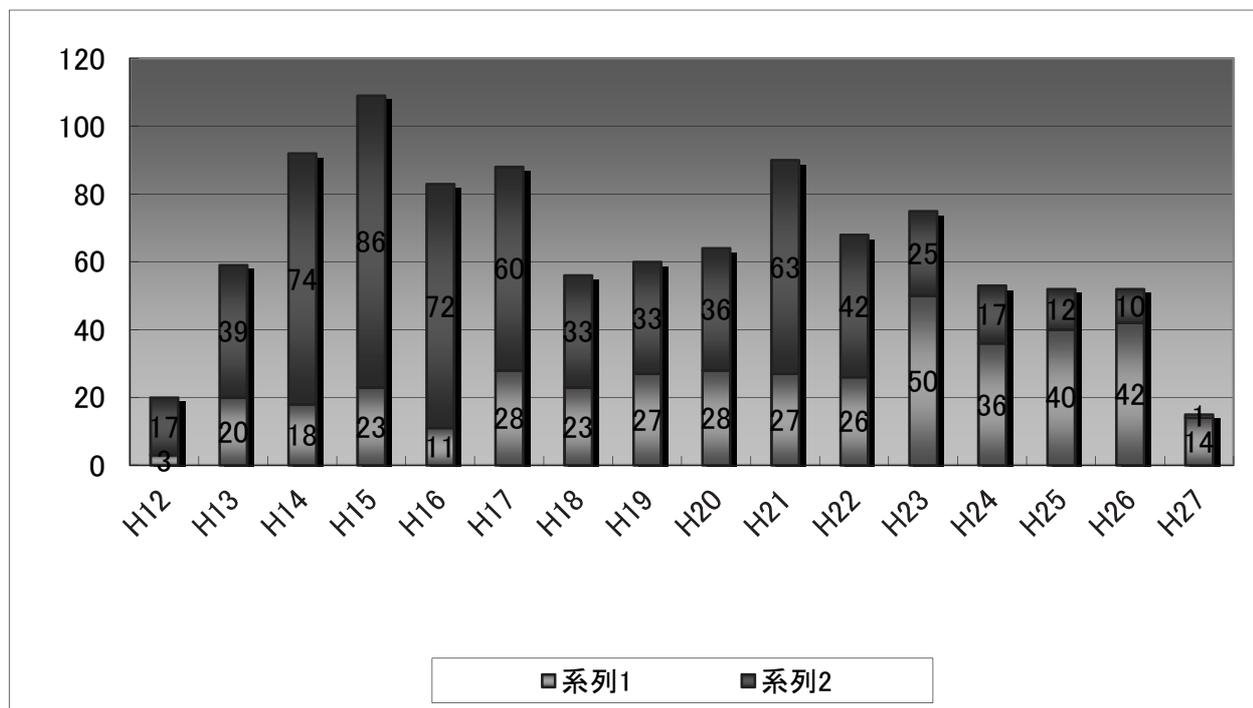
※1つのケースで区分が複数にまたがっているケースも、主たる区分のみを記入している。
(受付件数を、受付方法別や種別・属性別等の集計件数と合わせるため)

苦情受付件数 年次別推移

(単位：件、回)

区分／年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
苦情	3	20	18	23	11	28	23	27	28	27	26	50	36	40	42	14	416
一般	17	39	74	86	72	60	33	33	36	63	42	25	17	12	10	1	620
合計	20	59	92	109	83	88	56	60	64	90	68	75	53	52	52	15	1,036
対応延回数	21	142	121	137	97	100	103	162	141	228	230	203	119	126	120	33	2,083

※理由は不明であるが、平成27年度は苦情相談件数及び一般相談件数ともに大幅に減少した。



だいふくプラン2013

大分県社協第三次中長期活動計画



重点テーマ	高齢者・障がい者・子どもとその家族の安心・安全を目指して
マニフェスト	高齢者や障がい者、子どもとその家族にやさしいまちづくりを推進します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
1	地域包括ケアシステムの円滑な推進	(1) 地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会への支援	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、社会福祉士会	・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の活動を支援します。	地域福祉部 施設団体支援部	【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の運営支援を実施。 (地域包括ケアに関する職員研修会を実施)
		(2) 地域包括ケアシステムに関わるネットワークの強化	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、社会福祉士会、大分県地域包括ケア研究会	・介護サービス事業者、医療機関、民生委員、ボランティアなどの関係者との連携の仕組みづくりの先進事例を研修会等で紹介し、取組に結びつけます。 ・市町村社協や民生委員などが行っている小地域福祉活動(見守りネットワークやサロン活動)との連携を図るため、研修会や会議で市町村社協職員などの地域ケア会議への積極的な参加を促します。 ・大分県地域包括ケア研究会において、地域包括ケアのあり方について協議し、ネットワークを強化します。		【地域福祉部】 ・地域包括ケア推進大会(10/4)に参加し、地域包括ケアシステムへの連携協力。 ・地域包括ケア研究会の運営支援。 【施設団体支援部】 ・老施協主催による「地域包括ケア」に関する研修会を実施。
		(3) 地域包括ケアシステムに関わる人材の育成	市町村社協、社会福祉施設、地域包括支援センター、医師会、民生委員、地域住民	・地域包括ケアシステムに携わる方々を対象とした研修会の開催により、システムに関する認識を共通化し、核となる人材を拡大します。		【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の運営支援を実施(地域包括ケアに関する職員研修会を実施) ・老施協主催による「地域包括ケア」に関する研修会を実施。
2	地域包括支援センターの機能性の更なる向上と連携	(4) 地域ケア会議の機能性の向上	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、地域福祉推進委員会、医師会、病院協会、看護協会等	・カンファレンス実務研修や情報共有を図るための研修会を開催します。	施設団体支援部 地域福祉部	【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会及び老人福祉施設協議会の研修会等で「地域ケア会議」のあり方について導入
		(5) 地域包括支援センターの職員の資質向上	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	・地域包括支援センターの職員を対象とした研修会を開催し、知識や技術の向上を図ります。		【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会主催のブロック別研修会を実施。
		(6) 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー)との連携	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、社会福祉施設	・地域福祉コーディネーターとの連携による先進事例を会議や研修会で紹介するとともに、地域福祉コーディネーターとの連携モデル地域を設け、地域福祉コーディネーターとの連携による効果的事業展開について検証します。		【地域福祉部】 ・市町村社協職員を対象とした「地域福祉コーディネーター養成研修」の実施を通して、各団体、機関との相互学習及び、研修実施の協力により連携強化を行った。(年間4クール、通算9日間)
3	高齢者の生きがいづくり	(7) 高齢者の元気づくりをサポートする人材の育成	市町村社協、ボランティア、健康推進員、老人クラブ、地域包括支援センター	・高齢者ボランティアやサークルで活躍する人の研修会を実施します。(イクジイ、サロン活動) ・介護保険による介護予防事業だけに頼らない高齢者の元気づくりに関する研修会を開催します。	地域福祉部 施設団体支援部	【地域福祉部】 ・豊の国ねんりんピックの開催。(9/27) ・全国健康福祉祭の派遣。(10/17~20日) ・大分県ボランティア連絡協議会合同研修会の実施。(10/21、22・別府市) ・ボランティア大会の実施。(2/20・大分市ホルトホール) 【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の各ブロック研修会における介護予防に関する研修会の実施。
		(8) 高齢者の新たな起業支援	市町村社協、ボランティア、健康推進員、老人クラブ、地域包括支援センター	・高齢者が地域でいきいきと生活するための先進的な取り組みを研修会等でとりあげ、退職直後の地域デビューを応援します。(やねだん、葉っぱビジネス) ・高齢者による農水産物の生産と買い物弱者を結びつける仕組みづくりを進めます。		
4	認知症高齢者と家族への支援	(9) 認知症のある方をサポートする人材の育成	市町村社協、認知症の人と家族の会、ボランティア、行政、医師会	・認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。 ・認知症のある方への援助方法に関する講習会を開催します。	地域福祉部 施設団体支援部 研修センター	【地域福祉部】 ・市町村ボランティア連絡協議会実施の学習会へ「認知症家族の会」などの講師派遣による学習支援。 【施設団体支援部】 ・老施協主催による研修会を実施。 【研修センター】 ・一般県民向けの認知症介護教室を年6回開催。認知症ケアにあたる職員を対象とした認知症介護実践者研修等の研修会(4コース)を開催。 ・シルバー110番相談事業において認知症の相談実績、年間259件。
		(10) 認知症に関わるネットワークの充実	市町村社協、認知症の人と家族の会、ボランティア、行政、医師会	・認知症の方が地域で生活しやすいネットワークに関する研修会を開催します。 ・認知症の方を社会全体で支える仕組みづくりを進めます。(実地訓練モデル事業等)		

5	障がい者施設・団体への支援	(11)関係施設・団体への支援	各種別協議会、社会福祉施設、障がい者団体	・経営支援セミナーや社会福祉介護研修センターにおける研修を充実します。 ・制度や仕組みについての施設や団体からの相談について、個別に対応します。 ・障がい者の施設協議会や団体とを総合的に支援する組織の設置を検討します。	施設団体支援部	・知的、身障、就労の各種別協議会の運営支援。経営支援セミナー(10回)の実施
		(12)工賃向上に向けた取り組みへの協力	就労支援事業所協議会	・就労支援事業所の売上向上のため、就労支援事業所協議会を通じ、地域交流朝市等に就労支援事業所の参加を呼びかけます。 ・道の駅や里の駅、商業施設関係者との協議会を開催し、販売ルートの拡充を図ります。		・就労協の運営支援、共同受注取り組みに対する支援、大分ステップクラブでの授産製品販売支援及び販売会の実施。
		(13)発達障がい者や触法障がい者支援団体の支援	済生会、ボランティア団体、NPO、市町村社協、社会福祉施設、地域生活定着支援センター	・発達障がいに対する正しい知識の啓発と支援団体の活動を周知・広報します。 ・触法障がい者に対する正しい知識の啓発と支援団体との協議会を開催します。		・知障協職員研修において「発達障害」の研修を実施。
6	障がい者の地域生活支援	(14)相談支援体制の充実	社会福祉施設、行政、障がい者団体	・身体障害者福祉センターにおいて、関係団体と協力し、利用者に様々な情報を提供し、ワンストップで相談に対応します。	施設団体支援部 身障センター	【施設団体支援部】 ・身障センター事業等の各施設への周知実施。 【身障センター】 ・相談に対しては、内容に応じて情報を提供し、適切な機関を紹介している。
		(15)啓発活動の実施	障害者権利擁護センター、社会福祉施設、市町村社協	・だれもが安心してくらする大分県条例や障害者総合支援法、虐待防止、先進的な地域生活支援の取り組みについて、広報するとともに研修会や会議で取り上げます。 ・障がい者虐待防止を研修会等でとりあげ、障がい者の支援にあたる方々の虐待防止を啓発します。		【施設団体支援部】 ・老施協、知障協で虐待に関する研修会実施。
7	子ども・障がい児とその家族への支援	(16)子育て中の親が孤立しない活動への支援	児童相談所、主任児童委員、子育て支援センター、児童館、市町村社協、保育所	・子育て中の親が孤立しない取り組みを支援します。(サロン活動や見守り活動) ・ホームスタート等、アウトリーチ型の子育て支援の方法について、取組を支援し、活動を啓発します。	地域福祉部 施設団体支援部	【地域福祉部】 ・子育て環境セミナーの開催。(9/17) ・子育てサロン立ち上げ助成事業の実施。
		(17)障がい児とその家族への支援	行政、社会福祉施設、手をつなぐ育成会、市町村社協、ボランティア	・障がい児の親亡き後への支援方法について、障がい児の親へ情報提供します。 ・障がい児の放課後の余暇活動や社会生活を送る上でのスキル取得を支援をする団体や施設を支援します。		



重点テーマ	社会的孤立の解消を目指して
マニフェスト	絆を大事にし、独りぼっちの人をつくらぬ運動を展開します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
8	地域の実情にあった小地域福祉活動の推進	(1) 地域の実情にあった小地域福祉活動の普及・啓発(黄色い旗運動の取り組み等)	市町村社協、民生委員・児童委員協議会、ボランティア、自治委員会連合会、福祉委員、学校等	・黄色い旗運動などの小地域福祉活動の取組み方法を研修会や会議等で紹介し、地域の実情に即した小地域福祉活動が広がるよう広報・啓発します。	地域福祉部	・小地域福祉活動先進社協による研修会、事例検討の実施。(9/5. 2/18) ・市町村社協職員を対象にした先進地視察。【大牟田市社協】 ・住民参加型在宅福祉サービス研修会(12/14)の実施。 ・大分県ボランティア・NPO推進大会(2/20)の実施。
		(2) 地域の見守りに携わっている方が専門職と協働できる場づくりの推奨	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、介護支援専門員協会、ホームヘルパー協議会、看護協会、医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉施設、社会福祉士会、医師会	・見守りネットワークに携わっている地域住民等と専門職とが協働できる場づくりの重要性を研修会や会議を通じて啓発していきます。 ・見守りネットワークの支援方法や通信機器を活用した見守りづくりについて検討します。		・県社会教育課主催の公民館活動研修への学習支援(5/14. 7/11)
		(3) 地区社協やサロン活動に関わる人材育成	市町村社協、地区社協、サロン、老人クラブ、民生委員児童委員協議会	・地区社協やサロン活動に関わる方々を対象とした研修会を開催します。		・福祉ボランティア専門研修を7団体審査決定後に委託、実施。
9	生活困窮者(経済的困窮者、様々な生きづらさを抱える人、人とのつながりが希薄な人など)の支援	(4) 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー)の養成・育成、取り組みの研究	地域福祉推進委員会、大分大学、地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、婦人会、自治会、地区社協	・地域福祉コーディネーターの養成カリキュラムを検討し、研修を実施し、養成、育成していきます。(実践的な研修をもちます。) ・県の地域の福祉力再生事業の検証結果を踏まえるなどし、地域福祉推進委員会でも効果的な地域福祉コーディネーターの配置方法を研究します。 ・養成研修過程にある地域福祉コーディネーターや養成研修会修了者が地域で実践した結果を検証し、各地域での取り組み及び地域福祉コーディネーターの育成カリキュラムに生かします。	地域福祉部 生活支援部	【地域福祉部】 ・地域福祉コーディネーター養成研修の開催。(市町村社協の選抜職員に対して養成研修を実施)6/5.6. 9/5.10/21. 11/12.13. 2/17.18 ・大分市内NPO法人実施のホームレス支援でのフィールドワークの実施(11/12)。
		(5) 生活困窮者の実態把握と支援の仕組みづくり	市町村社協、民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア、老人クラブ、サロン、大分大学	・身近な地域でどのように生活に困窮し、又は孤立しているかを調査し、場面に応じた支援の仕組みづくりを進めます。		【地域福祉部】 ・生活困窮者支援対策班の設置による各市町村社協事業実施支援 ・市町村社協による生活困窮者自立支援事業の推進(県内15市町)指定・運営支援。 ・モデル地区における生活困窮者に対する地域住民の意識調査を実施(日出町)
		(6) 買い物弱者の暮らしやすい仕組みづくりの支援	市町村社協、民生委員児童委員協議会、福祉委員、ボランティア、コープおおいた、NPO、社会福祉施設	・過疎地域や都市部など、地域に応じた買い物弱者の状況把握マップを作成します。 ・関係機関と協働して見守りの支援体制を創ります。(宅配、移動販売、買物バスなどの検討) ・買い物弱者支援の先進事例を紹介します。		【地域福祉部】 ・地域福祉コーディネーター養成研修等を通じ買い物弱者支援を課題とした演習を実施
		(7) 生活福祉資金等を活用した、生活困窮者の生活再建の支援	民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア、市町村社協	・資金創設の原点に立って、生活福祉資金貸付後のフォローアップに力を入れます。(債権管理や家計相談支援など)		【生活支援部】 ・償還専門の専門員を雇用し、償還指導でのフォローアップの強化。
10	ひきこもりやニート、一人暮らし高齢者、一人親家庭の支援	(8) 人との交流、ふれあいの場づくりの支援	市町村社協、コープ大分、民生委員児童委員協議会、老人クラブ	・人との交流やふれあいの場づくりの先進事例を紹介し、モデル地域による場づくりの仕組みを構築します。(移動販売によるふれあいの場の創出等)	地域福祉部 研修センター	
		(9) 一人暮らし高齢者への安心の提供	市町村社協、ボランティア、医師会、弁護士会、認知症の人と家族の会	・研修会や会議で、一人暮らし高齢者支援の先進事例を紹介します。 ・介護教室の開催やシルバー110番の相談事業を通じて、老後の安心情報を提供します。(介護、認知症、遺言、葬祭支援、納骨支援...) ・黄色い旗運動など様々な見守り活動の仕組みづくりを支援します。		【研修センター】 ・シルバー110番において、介護、法律、認知症等の各種総合相談を実施。広報等に工夫を凝らした結果、27年度実績で6, 237件と対前年度比(26年度:5, 345件)約2割増。
		(10) 相談体制の充実	県行政、児童相談所、民生委員児童委員協議会、里親会、児童養護施設協議会、NPO、ボランティア、市町村社協、在宅介護支援センター、ハローワーク、児童アフターケアセンターおおいた	・市町村社協職員、民生委員や主任児童委員、地域包括支援センター、在宅介護支援センターの職員等の地域で相談を受ける役割の方々の研修会を充実させます。 ・県行政と協働・連携して、子育てサロン、里親サロンの活動等とおして、児童虐待防止等相談体制の充実を図ります。 ・措置解除に伴い、児童養護施設やファミリーホーム、里親を退所された方々への支援や助成の情報を提供します。		【地域福祉部】 ・民生委員を対象とした相談研修会の実施。(9/24) ・法律巡回相談会の実施。 【研修センター】 ・地域包括支援センターの職員等を対象とした、相談援助技術等についての研修会を年2回実施。
11	関係団体、機関への支援	(11) 関係団体、機関の人材育成	社会福祉法人、市町村社協、民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア団体、老人クラブ、サロン	・社会福祉法人が地域貢献として行う生活困窮者に対する取組みを支援します。 ・生活困窮者支援を対象としたセミナーを開催します。 ・生活困窮者支援を行っているNPOや団体とのネットワークを構築します。	地域福祉部 施設団体支援部	・生活困窮者自立支援制度に係る関係団体等との情報交換の実施及び市町村社協への情報提供
		(12) 関係団体、機関の活動紹介	大分県青少年自立支援センター、大分いのちの電話、民生委員児童委員協議会、NPO、老人クラブ、ボランティア団体、行政	・関係団体、機関の取り組みや地域での課題をお知らせし、社会的孤立問題について啓発します。		特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット設立総会の周知 等
		(13) 関係団体への助成金情報の提供	大分県青少年自立支援センター、大分いのちの電話、民生委員児童委員協議会、NPO、老人クラブ、ボランティア団体	・生活困窮者支援への助成金情報を提供します。 ・善意銀行からの助成金を優先的に配分します。		



重点テーマ	権利擁護システムの確立
マニフェスト	高齢者や障がい者の権利をまもります

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
12	市町村の法人後見の仕組みづくり及び市民後見人の養成、拡充	(1) 法人後見の必要性の啓発	市町村社協、弁護士会、社会福祉士会、社会福祉施設、市町村	・成年後見・権利擁護セミナーを充実させます。 ・成年後見制度の利用促進に向けた研修会を開催します。	地域福祉部 生活支援部	【地域福祉部】 ・市町村社協職員への法人後見実施に向けた啓発研修の実施(1/30) 【生活支援部】 ・日常生活自立支援事業担当者研究協議会において法人後見事業のあり方を協議 ・成年後見・権利擁護セミナーを開催。 ・常務理事・事務局長会議において、法人後見事業を実施している社協の事例を紹介。 ・市町村社協事務局長・担当者研修会において、先進的な社協の取り組みを紹介。
		(2) 法人後見の仕組みづくりに関する研究	市町村社協、弁護士会、裁判所、司法書士会、社会福祉士会、社会福祉施設	・県内での法人後見のあり方を検討する委員会を立ち上げます。 ・モデル地域での実践を検証します。		・3月に社協が実施する法人後見のあり方検討委員会の立ち上げ。 ・委員会の中で県内の先進的に実施している2社協(大分市社協、中津市社協)の取り組みを検証。
		(3) 法人後見モデル地域の選定	市町村社協、弁護士会、裁判所、司法書士会、社会福祉士会、社会福祉施設	・法人後見のモデル地域を選定し、モデル事業を実施します。		・大分市社協がやすらぎ安心事業で任意後見を6件、中津市社協が法人後見事業を1月に開始し、後見業務を1件受任中。
		(4) 市民後見人の養成	市町村社協、NPO、社会福祉士会、弁護士会、社会福祉施設、民生委員児童委員	・市民後見人養成研修会を開催します。		・中津市社協が法人後見事業を開始するにあたり、市民後見人養成研修会を開催。また、あり方委員会のなかで研修会のあり方も合わせて議論。
		(5) 市民後見人養成バンクの作成	市町村社協、民生委員児童委員協議会、社会福祉士会、社会福祉施設、家庭裁判所	・裁判所に推薦する市民後見人の登録名簿を作ります。		・委員会で市民後見人の登録についても検討。
13	関係機関との連携及び広報・啓発	(6) 裁判所や弁護士会等関係団体とのネットワークの整備	裁判所、金融機関、弁護士会、医師会、市町村	・関係機関とのネットワークを整備します。	生活支援部	日常生活自立支援事業関係機関連絡会議、権利擁護・成年後見推進連絡会議を開催し、関係機関と現状と課題の情報共有を行った。
		(7) 身寄りの無い方等の市町村申し立ての推奨	県行政、市町村	・身寄りが無く、申し立てができない方のため、県行政とも協働し、研修等により市町村に働きかけ首長申立制度の利用を推奨します。		・県主催の関係機関連絡会議において、社協への支援を要望。
		(8) 成年後見制度や日常生活自立支援事業のパンフレットの配布	市町村社協、行政、裁判所、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、法テラス	・成年後見制度や日常生活自立支援事業の仕組みや活用方法のパンフレットを配布します。		・家庭裁判所の成年後見制度に関するパンフレット及び日常生活自立支援事業のパンフレットを市町村社協をはじめ、関係機関に配布。
		(9) 広報誌やホームページ等を活用した、成年後見制度や日常生活自立支援事業の周知	市町村社協、行政	・広報誌やホームページ等を活用し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の情報を提供します。		・家庭裁判所の成年後見制度に関するパンフレット及び日常生活自立支援事業のパンフレットを市町村社協をはじめ、関係機関に配布。
14	虐待の防止	(10) 虐待防止のための啓発活動	県行政、市町村、市町村社協、社会福祉施設、NPO、社会福祉士会、民生委員児童委員協議会	・研修会等で虐待防止に対する取り組みを紹介し、地域や施設での虐待防止の取り組みに活かします。	地域福祉部 施設団体支援部 総務・企画情報部	【地域福祉部】 ・民生委員児童委員研修内で虐待防止の講習会を実施。 【施設団体支援部】 ・老施協、知障協で虐待に関する研修会実施。
		(11) 日常的な見守り、助け合い活動の普及、充実	市町村社協、民生委員児童委員協議会	・市町村社協が実施するサロン活動及び民生委員児童委員の見守り活動の支援を強化し、より一層の普及・充実を図り、虐待防止につなげます。		【地域福祉部】 ・単位民協主催の研修会への講師派遣による学習支援
15	障がい者の権利擁護	(12) 福祉情報の提供	社会福祉施設、市町村社協、地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	・日常生活自立支援事業による福祉サービスの利用援助や「きずな名鑑」により、福祉情報を提供します。	生活支援部	・日常生活自立支援事業を通じて、判断能力の不十分な方々へ福祉サービスの利用方法等情報提供を実施。
		(13) 利用者の権利擁護に関する制度の普及	市町村社協、社会福祉施設	・誰もが尊厳ある暮らしを送れるよう、自己決定権の尊重の考え方が普及されるよう、日常生活自立支援事業や苦情解決制度、第三者評価制度の普及に取り組みます。		・日常生活自立支援事業、苦情解決事業、第三者評価事業を円滑に進め、権利擁護の取り組みへの環境を整備。
		(14) 生活支援専門員や生活支援員の質の向上	市町村社協	・日常生活自立支援事業を担当する生活支援専門員や生活支援員の質の向上を図ります。	生活支援部	【生活支援部】 ・年に3回実施する、生活支援専門員や生活支援員の研修、会議を実施。 ・現物調査の際に事業実施にあたっての困りごとの把握。

16	権利擁護に関わる人材の育成	(15) 苦情解決機能の向上	市町村社協、社会福祉施設	・苦情解決セミナーを充実させ、苦情解決責任者や第三者委員の資質の向上につなげます。	総務・企画情報部	【総務・企画情報部】 ・苦情解決責任者や第三者委員を対象とした苦情解決セミナーの実施。
		(16) 第三者評価調査員の質の向上	社会福祉施設、NPO	・評価調査者の研修を充実させ、調査を社会福祉施設の質の向上へとつなげます。		【施設団体支援部】 ・評価調査者研修会等の実施

重点テーマ	災害に強い地域づくり
マニフェスト	災害が起きても安心・安全な地域づくりを推進します



NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
17	災害時要援護者をまもる地域コミュニティの構築	(1)福祉避難所の設置促進、要援護者避難訓練の支援	旅館・ホテル、社会福祉施設、市町村社協、コープおおい	・福祉避難所の量的確保と要援護者の特性に応じた避難所の質の充実を図ります。 ・関係機関と協働し、より現実に近い形で小さな単位での要援護者の避難訓練を実施します。 ・要援護者の避難について、社会福祉施設が貢献できるよう支援します。	地域福祉部	・避難行動計画作成研修マニュアルの作成（マニュアル検討会議8回開催、作成部数1,500部） ・災害時避難行動計画作成研修会の実施（県内沿岸部11市にて開催 計585名参加） ・福祉避難所開設・運営マニュアル作成と活用推進。 ・災害ボランティアセンター運営現地研修の開催（9/17～22、栃木県鹿沼市 9月20日～25日、茨城県常総市）。 ・大分県中部地域総合防災訓練への参画（6/5、7）。 ・大分県災害ボランティア体験型研修会の実施（1/29）。
		(2)災害時の福祉ボランティアの確保と支援の方法	市町村、市町村社協、民生委員、各種団体、盲人協会、聴覚障害者協会、社会福祉法人	・福祉ボランティアを確保するための広報、研修会を開催します。 ・避難及び避難所での避難者に配慮した福祉ボランティアの支援方法を検討します。		・「福祉ボランティアリーダー養成講座」を11～1月にかけて年3回実施済。ボランティアリーダー育成の面でニーズとは何か、サービスとは何かを学ぶことと同時に新たな仲間づくりに向けた啓発を実施。
		(3)平常時の要援護者等を対象とした地域交流事業	社会福祉施設、市町村社協、社会福祉法人	・平常時における要援護者等を対象とした地域交流を促進します。		
18	市町村災害ボランティアセンターの円滑な運営のための体制整備	(4)市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備、定着	市町村社協、ボランティアネットワーク、防災士会、民生委員児童委員協議会	・市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの定着のための研修会を開催します。 ・機動的な災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成を支援します。 ・要援護者支援の観点を盛り込んだ運営マニュアルの作成を支援します。	地域福祉部	・市町村災害ボランティアネットワーク会議(県内2会場)により各センターの設置運営マニュアルについて協議している。
		(5)市町村における災害ボランティアネットワークの整備	市町村社協、行政、民生委員児童委員協議会、ボランティア、日赤、消防団、防災士会、建設業組合、商工会、青年会議所、NPO、コープおおい	・市町村ごとの災害ボランティアネットワークの構築を支援します。 ・機動的なネットワークとなるよう、実際に各関係機関がどのように動くかどうかが訓練を実施し、実際に災害が起きた時の円滑な連携のあり方を整備します。		・災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会を実施(5回)。 ・市町村災害ボランティアネットワーク会議(県内2回)の実施。
		(6)外部からの支援を活かせるマニュアルの整備促進	市町村社協、NPO、ボランティア、コープおおい	・国外、県外、市外からの支援を受け入れる力(受援力)を高めるために、研修会を開催します。		・災害ボランティアセンター運営リーダー研修会(市町村社協職員対象)実施。35名程度養成。
19	情報収集・発信体制の整備	(7)社会福祉協議会間、社会福祉施設間での応援協定の締結、整備	市町村社協、社会福祉施設	・全市町村社会福祉協議会間での応援協定締結を支援します。 ・大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定が円滑に機能するよう、平常時からの調整と情報共有を図ります。	地域福祉部 総務・企画情報部	【地域福祉部】 ・全市町村社協との災害時応援協定を締結 ・全市町村社会福祉協議会間での応援協定の細目作成。
		(8)社会福祉協議会間、社会福祉施設との連絡窓口の共有化	市町村社協、社会福祉施設、九州社会福祉協議会連合会、全社協	・市町村社協や社会福祉施設、九社連、全社協からの情報収集体制の窓口を一本化します。		【地域福祉部】 ・県との協働により大分県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを作成、関係機関へ配布した。会議・研修会等で活用中。
		(9)県社協の災害対策マニュアルを見直し	市町村社協、行政、九州社会福祉協議会連合会、全社協	・現行の県社協の災害対策マニュアルを見直し、よりきめの細かい情報収集体制を再構築し、実践的な改訂版を作成します。		【地域福祉部、総務・企画情報部】 ・県社協版災害救援マニュアル改定版を作成。
20	小さな地域単位での避難体制の組織化	(10)東日本大震災、九州北部豪雨災害の検証に立った組織化の推進	市町村社協、ボランティア、自治委員会連合会、民生委員児童委員協議会、行政	・東日本大震災、九州北部豪雨災害における避難体制の検証をします。 ・研修会や会議において、自治会単位での避難体制整備に関する先進事例を提供します。	地域福祉部	・各自治会や校区単位での防災研修・会議等に講師として派遣指導を実施。
21	災害時、県災害ボランティアセンター(県社協)が機能するための環境整備	(11)県災害ボランティアセンターのあり方の協議、検討	県行政、市町村、市町村社協、全社協	・大震災発生後は、県地域防災計画に基づき、直ちに県災害ボランティアセンターを立ち上げます。 ・県災害ボランティアセンターにおいて、全国からのボランティアの受け入れができるよう、平常時から準備します。 ・県の広域防災拠点の補完拠点の検討状況を踏まえ、県社協事務局の補完場所や機能について、県と協議・検討します。	地域福祉部 総務・企画情報部 研修センター	【地域福祉部】 ・県・県社協災害マニュアル等受入手順等様式などを整理設定 ・県民活動支援室等と随時協議を行い、受入支援体制等の確立を目指している。(予算等)
		(12)県社協事務局が大震災発生時に、直ちに機能するための環境整備	県行政、市町村、市町村社協、全社協	・大震災発生時、総合社会福祉会館が機能停止した場合に備えて、社会福祉介護研修センターに県社協事務局及び災害対策本部が直ちに設置できるよう県と協議し、環境整備に努めます。(災害時要援護者情報や支援様式等の電子情報等をバックアップする方法の検討、クラウドサービスの活用など)		【地域福祉部、総務・企画情報部】 ・大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会(年1回)、運営委員会(年3回)の開催。 ・県及び研修センターと三者で随時、設置・整備について協議を実施。(3階小ホールを使用予定) 【研修センター、総務・企画情報部】 ・平成27年6月「大分県広域防災拠点基本計画」が策定され、研修センターに県災害ボランティアセンターを設置することが適当であるとされた。現在、県で災害ボランティアセンターの事務スペースとなる小ホールにパソコン、電話等やインターネット環境の整備を行っており、県との情報交換を密にしている。

重点テーマ	福祉ゾーン機能の充実・確立
マニフェスト	新たな福祉ゾーンの整備を進めます

NO.	施策の方向性	具体的な取り組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
22	蓄積された福祉のノウハウを国内外に発信します(ウェルフェアツーリズム事業による東アジアとの連携)	(1) 県行政と連携した取り組み	県行政、社会福祉施設	・東アジア地域の方々に、大分県内の社会福祉施設や社会福祉介護研修センターの見学等を通じて、日本の最新福祉情報を発信します。	研修センター	<p>・県が韓国ソウルで開催した「観光プロモーション」に参加し、韓国の旅行社等に対して研修センターや県内の福祉施設を紹介し、誘客を図った。</p> <p>【平成27年度研修センター海外受入団体:11団体357名】</p>
		(2) 具体的なルート作成	県行政、社会福祉施設、旅行会社	・具体的なルートを計画します。		
		(3) 受け入れ準備、組織体制の確立	県行政、社会福祉施設、旅行会社 大分大学、APU立命館アジア太平洋大学、日本文理大学、別府大学、県立看護科学大学	・受け入れるために必要な準備をします。		
23	障がい者の心とからだのリハビリ拠点を整備します(障害者総合支援法に基づく新たな総合福祉センターづくりを目指します)	(4) 県行政と連携した取り組み	県行政	・身体障害者福祉センター(あったかハートセンター【仮称】)のリニューアルに向け、県行政と協議します。	身障センター	<p>・県の施設であるため、県の意向に左右されるが、センターのあり方について現場サイドからの問題提起を実施。</p> <p>・福祉ゾーンから芸術ゾーンへの周遊が実際にどのようなようになるのか検証のための準備を実施。</p> <p>・県の施設であるため、県の意向に左右されるが、センターのあり方について現場サイドからの問題提起を実施。</p>
		(5) 県立美術館との連携した取り組み	県行政	・県立美術館の建設と連携し、芸術ゾーン(県立美術館付近から大分駅付近にかけての範囲)と福祉ゾーン(大分川以東、大野川以西の総合社会福祉会館と社会福祉介護研修センターの間付近の範囲)双方の機能が相乗的に効果をもたらすような取り組みを計画します。		
		(6) 県社協災害対策本部の整備	県行政	・リニューアルに際しての災害対策本部のスペースを確保するよう、県行政と協議します。		



重点テーマ	情報発信力の強化
マニフェスト	社協や福祉の情報を身近に直接発信します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
24	徹底した現場主義に基づいて、地域と一緒に活動を展開	(1)現場主義を進めるための組織体制の実証、改良	市町村社協、社会福祉施設等	・現場主義を進めるための組織のあり方の検討結果を実証し、改良につなげます。	総務・企画情報部 地域福祉部	【地域福祉部】 ・地域福祉推進委員会における市町村社協よりの意見・要望に基づいた各種部会運営 【地域福祉部】 ・職場内学習会への支援事業の実施。 ・地域福祉コーディネーター研修等の本会自主研修に現場実習を積極的に取り入れ。 ・市町村社協の希望による職員研修を実施。(年2回)
		(2)現場の意見を聞き、調整する場づくり	市町村社協、行政(県、市町村)等	・地域の実情に即した事業展開を図るため、県社協と市町村社協、市町村社協と市町村の協議の場づくりを積極的に進めます。		
		(3)市町村社協、社会福祉施設での職員実習	市町村社協、社会福祉施設等	・市町村社協や社会福祉施設での実習をとおり、地域や施設の課題・ニーズをとらえ、活動に生かします。		
25	「だいふくん」を活用した、グッズ・書籍の作成・販売・普及、イベントプロデュース	(4)「だいふくん」着ぐるみを活用したイベント等でのPR	市町村社協、社会福祉施設等	・着ぐるみを活用し、各種イベント等で「だいふくん」、社会福祉協議会等のPRをします。 ・だいふくんの歌を作成し、イベント等で活用し、社会福祉協議会等のPRをします。	総務・企画情報部	・だいふくんの着ぐるみを活用し、各種イベントでPR活動実施中。 ・就労支援事業所に、だいふくんグッズの作製を依頼。 ・だいふくんのグッズを作製し、配布・販売を実施。
		(5)就労支援事業所との協働	就労支援事業所協議会	・だいふくんグッズの作成などを通じ、就労支援事業所を支援します。		
		(6)だいふくんグッズ・書籍を活用したPR	市町村社協、社会福祉施設等	・だいふくんグッズや書籍の作成、販売、普及をとおり、社会福祉協議会等のPRをします。 ・だいふくんを福祉教育に活用します。(教材の作成等)		
26	広報誌やホームページ、フェイスブック等による、関係機関や地域活動団体の取り組みの紹介	(7)先進的な地域福祉活動の取り組みの発信	市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、NPO	・広報誌、ホームページ、フェイスブック等により先進的な地域福祉活動の取り組みを発信します。	総務・企画情報部	・紙媒体、電子媒体、あらゆる方法で先進的な福祉活動を発信 社協活動の紹介小冊子の作成に着手して協議、作成中
		(8)地域課題調査の結果紹介、分析	市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、ボランティア、NPO	・地域課題の調査を広域的な観点から実施し、結果分析を提供し、今後の地域福祉活動に役立てます。		
		(9)社会福祉協議会や社会福祉施設の紹介	市町村社協、社会福祉施設	・社会福祉協議会の活動内容を分かりやすく紹介し、社協活動の理解を促します。 ・「きずな名鑑」等で、社会福祉施設を紹介し、社会福祉施設をPRするとともに、利用者の施設選択に資することとします。		

